

167
193

西備五十川左武郎君校閱
天遊阪本 務 君編纂

作文
材料
故事選
全

版權所有 高田文賞堂藏

特

特19
319

西備五十川左武郎君校閱
天遊阪本 務君編纂



作文
材料
故事選
全

版權所有
高田文賞堂藏

故事選序

聞見不廣。則固不能作文。材料不多。則亦不能作文。是類書之所以起於彼也。類書之起。蓋始于南北朝云。夫材料之不可欠。彼且然。況於我乎。況於我之今日乎。我今日文運日盛。五方之學闖入。青衿子弟見聞雖日廣乎。而不暇用日月於經史子集。是以無稽之言。愈出愈亂。至其文辭。則如有不堪笑者焉。備後阪木天遊君蒐古今之事與言。附以出處及注釋。以爲一卷。其體裁雖與類書異。其撰要之有益於青衿子弟。蓋不鮮少也。雖然。不見夫黍稷種陸乎。其種皆受於天。而人也不播之。植之。耘之。穫之。則不如稊稗。今有此材料。而不知善用之。則其不爲用。猶黍稷種陸之不播。植。耘。穫也。苟如是。則作者之意荒矣。屈者浪華書肆高田主人。欲上梓。以君之言來請序言。余曾在鄉識

君矣。故不辭其請乃書之。併告世之讀此書者。明治二十六年
二月上浣識於大阪浪華橋北水樓之寓。訥堂學人五十川左
武郎。

緒言

一本書ハ予ガ平素書見ノ際佳語妙句ヲ得ル毎ニ其出處ヲ
考索シ悉ク之レヲ筆記シ訂正ヲ加ヘテ此小冊子ヲナセ
リ此道ニ遊ブ世間幾多ノ學生机上ノ友トナサバ少シク
稗補スル所アラシク歟

一題シテ作文材料故事選ト云フ故ニ先ヅ語句ノ作文ノ材
料トナルベキモノヲ撰擇シ輒チ故事ヲ擧ゲ畧解ヲ與ヘ
以テ學生ヲシテ其起因スル所及ビ其語句ノ用例ヲ知ラ
シム

一故典ニ()ヲ以テ區劃シタルハ其出處ノ引用書ヲ明カニ
シ其語句中○点ヲ附シタルハ作文語句出處ヲ知ルニ主
要ナル箇所ナリ

一文章ヲ綴ルモノ一字一語ノ措置ヲ最モ鄭重ニセザル可
カラズ故ニ附録トシテ連文解義ヲ載セタリ然レドモ文
字ノ多キ一々之レヲ舉グル能ハズ唯其主要ナルモノヲ
摘ムノミ

一予ヤ淺學短才鉛槧ノ業ニ巧ナラズ且ツ公務ノ餘暇筆ヲ
執ル其魯魚ノ弊アルヲ免レザルベシ素ヨリ大方博識ノ
覽ニ供スルニ足ラズ若シ誤テ其眸子ニ接スルユトアラ
ハ唯夫レ此正セラレノユトヲ望ムト云爾

明治二十六年二月

編者識

作文故事選目次

○作文語句

- (一) 學ハ小成ニ安ズベカラズ……………一 丁
- (二) 功成リ身退ク……………全 丁
- (三) 早ク嘉遯ノ志アリ……………二 丁
- (四) 白頭新ノ如ク傾蓋舊ノ如シ……………全 丁
- (五) 一見舊相識ノ如シ……………三 丁
- (六) 蒲柳ノ質……………全 丁
- (七) 三舍ヲ避ク……………全 丁
- (八) 朝三暮四妄リニ其心ヲ勞ス……………四 丁
- (九) 陰徳アルモノ其榮子孫ニ及ブ……………全 丁

- (五) 積善ノ家必ズ餘慶アリ……………五 丁
- (二) 懸河ノ辯……………全 丁
- (三) 翹楚……………六 丁
- (三) 玉石俱ニ焚ケントス……………全 丁
- (四) 歩ヲ邯鄲ニ學ブ焉ゾ彷彿スルヲ得ン……………全 丁
- (五) 其腸皆錦繡ナリ……………七 丁
- (六) 岐路ニ臨テ泣キ白絲ヲ見テ悲シム……………全 丁
- (七) 擊壤——鼓腹……………八 丁
- (六) 天網恢々疎ニシテ洩サズ……………全 丁
- (元) 魚網鴻離ノ歎ナクンバアラズ……………九 丁
- (四) 一片ノ丹心汗青ヲ照ラス……………全 丁
- (二) 三軍帥ヲ奪フベシ匹夫志ヲ奪フベカラズ……………十 丁

- (三) 脅肩詔笑……………全 丁
- (三) 水魚ノ交リアリ……………十一 丁
- (四) 芻蕘ノ言モ猶聽クベシ況ンヤ其僚友ヲヤ……………全 丁
- (三) 哲婦城ヲ傾ク豈ニ近クベケンヤ……………全 丁
- (六) 蝸角ノ争……………十二 丁
- (七) 邂逅……………全 丁
- (六) 汗牛充棟……………十三 丁
- (元) 隴ヲ得テ蜀ヲ望ム……………全 丁
- (四) 霜ヲ履テ堅氷ヲ警ム……………全 丁
- (三) 嚆矢……………全 丁
- (三) 氷堅ノ幸ト云フベシ……………十四 丁
- (三) 泰山北斗ノ如クス……………十五 丁

(一)	晝夜牙籌ヲ執テ會計ス……………	十六	丁
(二)	尊俎ノ間ニ謀議ス……………	全	全
(三)	其言呐々辨シ難シ……………	十七	丁
(四)	圖南ノ鵬翼ヲ張ラント欲ス……………	全	丁
(五)	日出テ、三竿……………	全	丁
(六)	苟且記問ノ學ニ過ギザルナリ……………	十八	丁
(七)	刀圭ヲ業トス……………	全	丁
(八)	蚌鷓ノ争ヒ解ケズ……………	十九	丁
(九)	權輿……………	全	丁
(十)	金衣公子……………	二十	丁
(十一)	點心……………	全	丁
(十二)	世情紛紜爲メニ市ニ虎アリ曾母機ヲ投ズルガ如キ……………	全	丁

(一)	ノ情ナキ能ハズ……………	全	丁
(二)	癢ヲ噬ムノ嘆アルベシ……………	二十一	丁
(三)	長鞭馬腹ニ及ハズ……………	全	丁
(四)	唯是レ其一斑ノミ……………	二十二	丁
(五)	嶄然トシテ頭角ヲ見ハス……………	全	丁
(六)	箕畢ノ圍始メテ解ク……………	全	丁
(七)	孟母斷機ノ教アリ……………	二十三	丁
(八)	豈ニ鹿豕ニシテ群聚センヤ……………	全	丁
(九)	無鹽ト毛嫱トハ唯其心如何ニ在リ……………	二十四	丁
(十)	朽索ノ六馬ヲ馭スルガ如シ……………	全	丁
(十一)	蓋シ衆中ノ巨擘カ……………	全	丁
(十二)	物ヲ玩ベバ志ヲ喪フ……………	二十五	丁

- (卷) 先入主トナル……………全 丁
- (卷) 所謂死ヲ生カシテ骨ニ肉スル者ナリ……………二十六丁
- (卷) 駿馬痴漢ヲ馱シテ走ル……………全 丁
- (卷) 苗ニシテ秀デザルモノアリ……………二十七丁
- (卷) 尾ヲ搖カシ耳ヲ帖レ以テ憐チ乞フ……………全 丁
- (卷) 簞瓢自ラ樂ム……………二十八丁
- (卷) 韃橐以來人皆文弱ニ流ル……………全 丁
- (卷) 素封ノ富以テ陶猗ニ比スベシ……………二十九丁
- (卷) 事ハ古人ニ半バニシテ功必ズ之レニ倍セン……………三十丁
- (卷) 善チ爲ス惟レ日モ足ラズ……………三十一丁
- (卷) 循々トシテ序アリ……………全 丁
- (卷) 逕庭……………全 丁

- (卷) 書史ヲ涉獵スルユト人ニ倍蓰ス……………三十二丁
- (卷) 若シ藥瞑眩セズンバ厥ノ疾瘳ヘズ……………全 丁
- (卷) 二豎……………三十三丁
- (卷) 精衛ノ石ヲ銜ムテ海ニ填ムルガ如シ……………全 丁
- (卷) 古人ヲ陳編ニ友トス……………全 丁
- (卷) 易筭……………三十四丁
- (卷) 清風ニ御シテ華胥ニ遊ブ……………全 丁
- (卷) 宿昔青雲ノ志アリ……………三十五丁
- (卷) 曲學世ニ阿ル輩ト同日ニ語ルベカラズ……………全 丁
- (卷) 山河帶礪ノ誓……………全 丁
- (卷) 青衿……………三十六丁
- (卷) 青州從事……………全 丁

- (空) 皐比下……………三十七丁
- (空) 目ニ一丁字ナシ……………全丁
- (空) 鹵簿ノ列ニ陪ス……………全丁
- (空) 麗澤ノ契……………三十八丁
- (空) 纏頭ヲ抛テ之レヲ祝ス……………全丁
- (空) 青眼欣如……………全丁
- (空) 豈ニ弁髦ノ之ヲ傲ブルガ如キモノナランヤ……………三十九丁
- (空) 薰蕕ヲ辨セズ……………全丁
- (空) 青蠅白玉ヲ汙ス……………四十丁
- (空) 國色……………全丁
- (空) 艱難免レガタシ是レ天歩……………全丁
- (空) 星拱シテ其德ヲ慕フ……………四十一丁

- (空) 翻雲覆雨ハ情海ノ常ナリ……………全丁
- (空) 人中ノ龍……………全丁
- (空) 甘棠ノ念……………四十二丁
- (空) 世ノ中ハ塞翁ノ馬ナリ……………全丁
- (空) 不龜手ノ藥モ之ヲ大用スレハ封侯ヲ得ル……………四十三丁
- (空) 瓜田ノ履李下ノ冠……………全丁
- (空) 反目……………四十四丁
- (空) 瓜ヲ種ユルノ地ヲ存ス……………全丁
- (空) 就將良計ナリ……………全丁
- (空) 萱堂……………四十五丁
- (空) 人口ニ膾炙ス……………全丁
- (空) 縑縷身ニ纏フ能ク勤儉シテ匱カラズ……………四十六丁

- (豆) 牛渡馬勃モ良醫之レヲ用ヰレバ其効多カラズ
トセズ……………全丁
- (豆) 家ニ儻石ノ儲ナシ……………四十七丁
- (豆) 我レ内ニ省ミテ炊シカラズ……………全丁
- (京) 斗筭ノ人素ヨリ論ズルニ足ラズ……………全丁
- (京) 科ヲ同フセズ……………四十八丁
- (言) 聊カ意ヲ毛錐子ニ寄ス……………全丁
- (三) 年ハ古稀ニ近ク……………全丁
- (三) 諸孤ヲ撫抱シテ長育成就凱風ノ劬アリ……………四十九丁
- (三) 杞憂ヲ抱ク……………全丁
- (言) 呱呱乳ヲ求ム……………全丁
- (三) 踊三百……………五十丁

- (三) 九牛ノ一毛ノミ……………全丁
- (三) 糊口……………全丁
- (三) 墨甜郷……………五十一丁
- (三) 鼻祖……………全丁
- (言) 春風採餘ノ草化シテ螢火トナル……………全丁
- (三) 物色……………五十二丁
- (三) 羝羊籬ニ觸ル、ノ悔アリ……………全丁
- (三) 楚材管用セララル……………全丁
- (言) 一々擧グルハ蛇足ナルベシ……………全丁
- (三) 杜撰……………五十三丁
- (三) 幕府……………全丁
- (三) 魯陽ノ戈ト一般ノ失策トナス……………五十四丁

- (三) 物故……………全 丁
- (三) 學者ヲシテ亡羊ノ嘆アラシム……………五十五丁
- (三) 盲龜ノ浮木ニ逢フガ如シ……………全 丁
- (三) 扇ヤ覽揆ノ辰ニ値フ……………五十六丁
- (三) 龍泉太阿ヲ以テ菜根ヲ截ルガ如シ……………全 丁
- (三) 豐亨豫大ノ時ニ遭遇ス……………全 丁
- (三) 竹葉……………五十七丁
- (三) 輪奐其美ヲ極ム……………全 丁
- (三) 嗟予襪線強テ舐牘ヲ秉ル……………全 丁
- (三) 鶴鴿ノ情……………五十八丁
- (三) 桑榆ノ暮景眞ニ憐ムベシ……………全 丁
- (三) 蹇々トシテ匪躬ノ節ヲ持ス……………五十九丁

- (三) 執友……………全 丁
- (三) 編紵ノ歡ヲ啓ク……………全 丁
- (三) 子豈ニ忸怩タラザランヤ……………全 丁
- (三) 樂ハ虚ヲ出シ蒸ハ菌ヲナス……………六十丁
- (三) 一犬虚ニ吠ヘテ萬犬實ヲ傳フ……………全 丁
- (三) 拮据黽勉事ニ茲ニ從フ……………六十一丁
- (三) 鹽梅ノ才——和羹ノ才……………全 丁
- (三) 豹死シテ皮ヲ留メ人死シテ名ヲ留ム……………六十二丁
- (三) 鳧短鶴長……………全 丁
- (三) 九仞ノ功ヲ一簣ニ虧ク……………六十三丁
- (三) 億料奇中……………全 丁
- (三) 德義地ヲ掃フ……………全 丁

- (三) 爰ヲ負フテ東京ニ遊ブ……………六十四丁
- (三) 天下皆其風采ヲ想望ス……………全丁
- (三) 網羅シテ細大遺サズ……………全丁
- (三) 領下ノ珠ヲ得タリト云フベシ……………六十五丁
- (三) 皆畫餅ニ屬ス慨スベキカナ……………全丁
- (三) 足下ノ軒渠ヲ博ス……………全丁
- (三) 常山ノ蛇勢……………六十六丁
- (三) 驥尾ニ附ク……………全丁
- (三) 齊東野人ノ語……………全丁
- (三) 舞馬ノ災ニ罹ル……………六十七丁
- (三) 箕裘ヲ繼グ……………全丁
- (三) 之ヲ東隅ニ失フト雖モ願クハ之レヲ桑榆ニ收

- ……………六十八丁
- (三) 鬱攸ノ災ニ罹ル……………全丁
- (三) 綠林——白波……………六十九丁
- (三) 文ハ能ク五鳳樓ヲ作ル……………全丁
- (三) 國是ヲ定ム……………七十丁
- (三) 况ンヤ親炙セラル、者ニ於テチヤ……………全丁
- (三) 骨董……………全丁
- (三) 泚額……………七十一丁
- (三) 熊罷ノ祥……………全丁
- (三) 蟬ニ五徳アリ……………七十二丁
- (三) 泰山頽レ梁木壞ル……………全丁
- (三) 祖ヨリ光アリ……………全丁

- (一) 頭ニ敗天公ヲ戴ケリ……………七十三丁
- (二) 襪子……………全丁
- (三) 絳樹青琴皆其顔ヲ掩フ……………全丁
- (四) 百二ノ山河……………七十四丁
- (五) 空谷ノ足音覺然タルヲ聞テ喜ブ……………全丁
- (六) 此君ヲ庭前ニ移シ裁ウ……………七十五丁
- (七) 食スルニ魚ナク出ヅルニ車ナシ……………全丁
- (八) 一騎當千……………全丁
- (九) 科ニ盈ナテ進ム……………七十六丁
- (十) 切磋琢磨……………全丁
- (十一) 絶交……………全丁
- (十二) 峨々タル高山洋々タル流水……………七十七丁

- (十三) 兄弟鬩牆ノ聲アルモ而モ亦其懿親ヲ廢テズ……………全丁
- (十四) 椿庭疾ニ遇フヤ深シ……………七十八丁
- (十五) 宛然トシテ幽風七月ノ圖ヲ畫出セリ……………全丁
- (十六) 鴻瓜泥ニ印スルハ予ガ意ニ非ラザルナリ……………七十九丁
- (十七) 遮莫アレ牛馬唯其呼ブニ任カス……………全丁
- (十八) 馬齡ヲ加フ……………八十丁
- (十九) 瓊尾顛跌……………流離……………全丁
- (二十) 武夫赴々……………全丁
- (二十一) 一言一語肯綮ニ中ル……………全丁
- (二十二) 翼ナクシテ飛ビ脚ナクシテ善ク走ル……………八十一丁
- (二十三) 交ルニ友ナク轉離群索居ノ嘆アリ……………全丁
- (二十四) 言語矛盾……………全丁

- (一) 不庭ヲ討ズ……………八十二丁
- (二) 松柏蔚然トシテ歳寒ノ姿アリ……………全丁
- (三) 高山景行……………全丁
- (四) 穿鼻ヲ甘ンズ……………八十三丁
- (五) 屍ヲ馬革ニ裹ムベシ……………全丁
- (六) 越俎ノ罪ヲ犯ス……………八十四丁
- (七) 大厦ノ顛覆セントスル一木ノ能ク支フル所ニアラズ……………全丁
- (八) 數奇……………全丁
- (九) 幾微ノ音面ニ見ラハルハナシ……………全丁
- (十) 是レ百歩ヲ笑フノ類ノミ……………八十五丁
- (十一) 當路者宜シク鑑ミルベキナリ……………全丁

- (一) 酒ヲ贈テ王弘白衣ヲ學ブ……………八十六丁
- (二) 阿闍梨……………全丁
- (三) 玉トナリテ碎クルモ瓦トナリテ全キコトナカレ八十六丁
- (四) 姑射ノ仙ノ如シ……………八十七丁
- (五) 梯航……………全丁
- (六) 河魚ノ患……………全丁
- (七) 警咳ニ接ス……………全丁
- (八) 懸車ノ齡ヲ迎フ……………全丁
- (九) 拍手喝采ノ聲山河ニ響ク……………全丁
- (十) 早ク犧牛ヲ畏ル……………八十九丁
- (十一) 乏ヲ何職ニ承ク……………全丁
- (十二) 秉鈞ノ人……………全丁

- (三) 衆妙ニ入ルノ門ナリ……………全 丁
- (三) 跳梁……………九十丁
- (三) 夙ニ臨池ノ矩矱ヲ得タリ……………全 丁
- (三) 遊亦恢々綽トシテ餘地アリ……………全 丁
- (三) 前跋後寔吾意ノ如クナラズ……………九十一丁
- (三) 光焰萬丈……………全 丁
- (三) 靜ナルユト林ノ如ク其疾キ一風ノ如シ……………全 丁
- (三) 末年ニ暨ビ善ニ遷リ能ク豹變ス……………九十二丁
- (三) 苗格文徳ノ盛ナル期シテ跋ッベシ……………全 丁
- (三) 龍伸夔屈……………九十三丁
- (三) 輟鮒ノ患ヒニ堪ヘズ……………全 丁
- (三) 士ハ取レドモ廉ヲ傷テズ……………九十四丁

- (三) 塗鴉字ヲ成サズ……………全 丁
- (三) 予豈ニ鵠羽ノ嗟ナカラシヤ……………全 丁
- (三) 天地ノ大義ナリ……………九十五丁
- (三) 名聲藉甚……………九十六丁
- (三) 何ゾ之ヲ齒牙ニ措クニ足ランヤ……………全 丁
- (三) 魚沈ミ雁斷ッ……………全 丁
- (三) 兎走鳥飛……………九十七丁
- (三) 王事暨キユトナシ……………全 丁
- (三) 文壇ニ牛耳ヲ執ル……………九十八丁
- (三) 三無私……………全 丁
- (三) 星移リ物換ル……………全 丁
- (三) 黃絹幼婦——絶妙好辭……………九十九丁

- (一) 唇亡ビテ齒寒シ……………全丁
- (二) 履齒ノ折ル、ヲ知ラズ……………百丁
- (三) 五日一風十日一雨……………全丁
- (四) 琴ヲ燒キ鶴ヲ烹ル……………全丁
- (五) 萬民ヲ橐籥シテ以テ一心トナス……………百一丁
- (六) 糟粕ヲ舐リテ唾餘ヲ拾フ……………全丁
- (七) 南柯ノ一夢……………全丁
- (八) 越人秦人ノ肥脊ヲ見ルガ如シ……………百二丁
- (九) 瓜葛ノ親アリ……………全丁
- (十) 龍陽ノ選ヲ以テ柔曼ノ態ヲ逞フス……………百三丁
- (十一) 膠柱ト一般ナリ……………全丁
- (十二) 出藍ノ青……………百四丁

- (一) 白龍魚服豫且ノ爲メニ困メラル……………全丁
- (二) 是レ壘上九ニ處ルモノ、居ナリ……………百五丁
- (三) 兩部……………全丁
- (四) 陶泓——陳玄……………全丁
- (五) 伐性刀……………百六丁
- (六) 志ヲ得ル常ニ少シ……………全丁
- (七) 人豪……………百七丁
- (八) 志ヲ得レバ驕ランコトヲ恐ル……………全丁
- (九) 文臣錢ヲ愛セズ武臣死ヲ惜マザレバ天下太平ナリ……………全丁
- (十) 精誠神明ニ通ズ……………百八丁
- (十一) 多々益辨ズ……………全丁

- (九) 文ハ萬斛ノ泉ノ如シ……………百九丁
- (一〇) 油然トシテ雲ヲ作シ沛然トシテ雨ヲ下ス……………全丁
- (一一) 跡ノ犬堯ニ吠ユ是レ其主ノ爲メニスルナリ……………全丁
- (一二) 髀肉ノ生ズルヲ悲シム……………百十丁
- (一三) 雲龍ニ從フ……………百十一丁
- (一四) 我レ未タ之レヲ前聞セザルナリ……………全丁
- (一五) 解語ノ花……………全丁
- (一六) 謳歌……………百十二丁
- (一七) 智勇ノ鋒千ヲ以テ數フ……………全丁
- (一八) 敗ヲ轉シテ功ヲ爲ス……………全丁
- (一九) 卜居……………百十三丁
- (二〇) 深淵ノ靜ナルガ如シ……………全丁

- (二一) 思ヒ邪マナシ……………全丁
- (二二) 無爲ニシテ至正ヲ守ル……………全丁
- (二三) 登龍門トナス……………百十四丁
- (二四) 鬚ノ塵ヲ拂フ……………全丁
- (二五) 時世ノ粧ヲナサズ……………全丁
- (二六) 捐館……………百十五丁
- (二七) 陟岵モ亦環膝ニ異ナルユトナシ……………全丁
- (二八) 馬前ニ草ヲ結ブ……………百十六丁
- (二九) 節既ニ數雨ヲ過ギ氣南訛ニ向フ……………全丁
- (三〇) 蓋シ亦一方ノ木鐸ナリ……………全丁
- (三一) 葑菲ヲ采ルノ心以テ觀ルベシ……………百十七丁
- (三二) 証左……………全丁

(一) 金蘭ノ契……………全 丁

(二) 無定河邊ノ骨ヲシテ春閨夢裡ノ人タルノ歎アラシム……………百十八丁

(三) 渴スレドモ盜泉ノ水ヲ飲マズ……………全 丁

(四) 陽剛ノ才ヲ以テ虎變ノ象ニ應ズ……………百十九丁

(五) 羊質ニシテ虎皮……………全 丁

(六) 一言半辭ノ我ヲ送ルナシ……………全 丁

(七) 南山ノ壽——松柏ノ茂……………百二十丁

(八) 崇朝ナラズシテ天下ニ及バントス……………百二十一丁

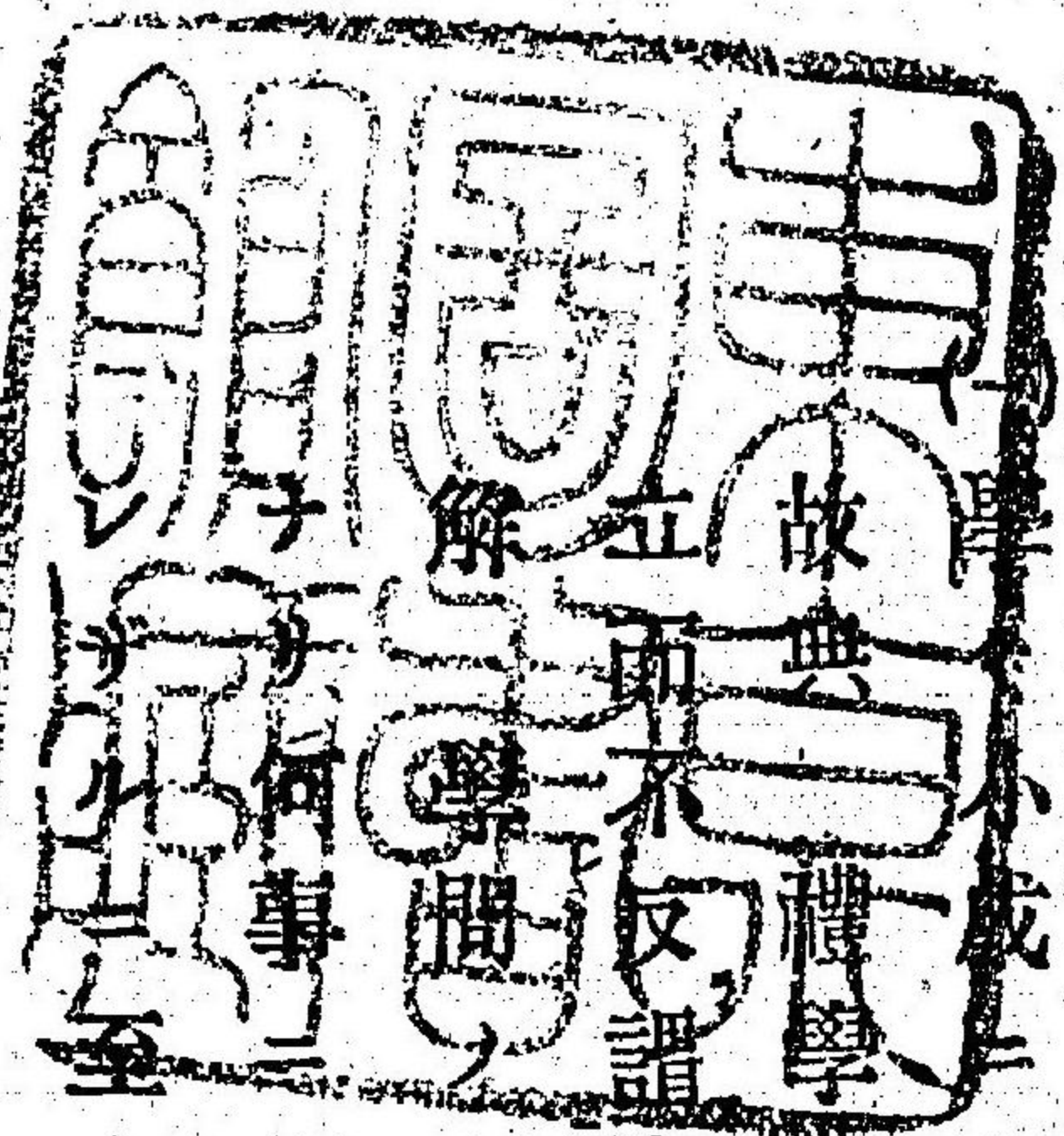
作文語句目次終

附錄 連文解義……………

自百廿二丁至百廿八丁

作文材料 故事選

西備 五十川左武郎校閱
坂本 務編纂



學小成ニ安ズベカラズ
故典禮學記七年視論學取友謂之小成九年知類通達強
立而不反謂之大成
解奧義ヲ講求シ又益友ヲ擇テ友トス之レ小成
學問モ通シテ自立獨行シ毫モ外物ノ爲メニ奪ハ
事ル之レ大成ナリ故ニ學ハ小成ニ安ゼズ大成
ナ期スベキト云フニ用フ

(二) 功成リ身退ク

故典 (老子) 老子曰功成名遂身退天之道

解 仕官ノモノ功ヲ奏スレバ身ヲ退キ閑散ノ地ニ着ク
ハ天道ナリト。サスレバ辱メラズ又殆カラズト云フ意
ナリ

(三) 早ク嘉遯ノ志アリ

故典 (易) 嘉遯 貞吉

解 隱者トナリテ世ヲ遯レ一切俗事ニ繫ガレザルノ心
ナリ

(四) 白頭新ノ如ク傾蓋舊ノ如シ

故典 (家語) 孔子之郊遭程子於途傾蓋而語終日甚相親

解 友達ノ中ニハ白髮ノ老人ニナリテモ猶互ヒニ其心
ヲ知ラズシテ新シキ友ヲ見ルガ如キモノアリ又一寸逢
フテモ直チニ互ヒノ心ヲ知り合フテ舊クヨリ交リ居ル

(一) モノ、如ク親睦ニスルモノアリト用フルナリ

(二) 一見舊相識ノ如シ

故典 (晋書陸機傳) 太康末與弟雲俱入洛造太常張華々素

重其名如舊相識

解 始メテ相見シニ兼テ名聲ヲ聞キ居リテ舊クヨリ相
識ルモノ、如シトナリ

(*) 蒲柳ノ質

故典 (南史) 松柏之姿經霜愈茂蒲柳之質望秋先靈云云

解 故典ハ顧愷之ナル人梁ノ簡文帝ト同年ニシテ髮白
シ帝其故ヲ問ヒシニ答ヘタル辭ナリ此レハ身体ノ薄弱
ナルコトニ用フベシ

(七) 三舍ヲ避ク

故典 (左傳僖公二十三年) 文公對曰若以君之靈得反晉國
晉楚治兵遇於中原其辟君三舍

解 古へ軍行ニハ三十里ニシテ一舍ス故ニ三舍ニ九十
里ナリ九十里程ヲ避ケテ君ニ抵抗セズトナリ總テ人ニ
及バザルユトニ用ヒタリ

(六) 朝三暮四妄リニ其心ヲ勞ス

故典 (莊子齊物論) 勞神明爲壹而不知其同也謂之朝三曰
狙公賦茅曰朝三而暮四衆狙怒曰然則朝四而暮三衆狙皆
悅名實未虧喜怒爲用亦因是也云云

解 到底同一ノ事ナルヲ知ラズ切々トシテ事ノ分ヲ
ナシ妄ニ其心ヲ勞スルト云フユトニ用フ

(九) 陰德アルモノ其榮子孫ニ及ブ

故典 (說苑) 曰有隱德者必享其榮以及子孫

解 陰德ハ人ノ知ラザル處ニ公益ヲナスニ其德ハ其家
ヲ繁昌ナラシメテ子孫ニ至ルマデ餘慶ヲ受クルトナ
リ

(一〇) 積善ノ家必ズ餘慶アリ

故典 (易) 積善之家必有余慶積不善之家必有余殃

解 善事ヲナシ置カバ子孫ニ至ルマデ其家榮ヘ行クナ
リ不善ノ事ヲナストキハ子孫ニ至ルマデ殃アリト用ヒ
タリ

(二) 懸河ノ辯

故典 (晉書郭象傳) 王衍每云聽象語如懸河瀉水而不竭
解 達辯ナルヲ云フ

(三) 翹楚

故典 (詩經漢廣篇) 翹々錯薪言刈其楚

解 楚ハ木ノ名ニシテ翹々ハ秀起スル臭ナリ。並々ヨリ

秀絶シタルユトニ用フ

(三) 玉石俱ニ焚ケントス

故典 (書經胤征) 火炎崑岡玉石俱焚天吏逸德烈于猛火云

云

解 勢力ノ熾ナルキハ善キ者モ惡シキ者モ共ニ焚失ス

ルナリ善惡區別ナク慘境ニ陥ルニ際フベシ

(四) 歩ヲ邯鄲ニ學ブ焉ソ彷彿スルヲ得ン

故典 (後漢書班固傳) 有學歩於邯鄲者未得其彷彿失其故

歩匍匐而返

解 邯鄲ハ趙國ノ首都ニシテ步行ノ模様モ自然ニミヤ

ビタル所ナリ故ニ之レヲ學ビシモ未ダ其眞似モ出來ザ

ルニ却テ其故トノ歩ヲ失フトナリ凡テ人ノ眞似ヲナサ

ント欲シ却テ自己ノ技能ヲ失フト云フコトニ用ユ

(三) 其腸皆錦繡ナリ

故典 (唐書李白傳) 錦心繡腸云云

解 才藻富瞻ナルニ際フ

(二) 岐路ニ臨テ泣キ白絲ヲ見テ悲シム

故典 (淮南子) 楊朱見岐路而泣爲其可以南可以北墨子見

練絲而悲爲其可以黃可以黑

解 分レ路ハ南ニテモ行カレ北ニテモ行カレバ如何

セシト方向ニ迷フナリ又白絲ハ染ムレバ黃ニモナリ黒

ニモナレバ必ズ方向ヲ迷ハザルトモ云フベカラズ是レ
悲ムモノアリ泣クモノアル所以ニシテ畢竟人ノ心ハ善
惡孰レニモナルヲ悲シムユトニ用フ

(七) 擊壤——鼓腹

故典 (帝王世紀) 帝王之世天下太和百性無事有八九十老
人擊壤而歌又々(莊子)含哺而嬉鼓腹而遊

解 天下能ク治マリテ四方ノ民皆喜テ或ハ壤ヲ擊テ或
ハ腹ヲ鼓テ樂中ニ世渡ル意ナリ

(八) 天網恢々疎ニシテ洩サズ

故典 (老子) 天網恢恢疎而不失

解 恢々ハ大ナル貌天ノ網ハ餘リ大ニシテ疎ナルヤウ
ナレドモ一ツモ洩ラスユトナク此網ニカ、ルトナリ言

フハ人目ヲ匿レ惡事ヲ働クモノハ遺ラズ捕縛セラレ、
ト云フニ用フ

(九) 魚網鴻離ノ歎ナクンバアラズ

故典 (詩經新臺篇) 魚網之設鴻則離之燕婉之求得斯戚施
解 魚網ヲ設ケテ却テ鴻ヲ得タルノ義ニシテ善キ者ヲ
得ント欲シ反テ惡シキ者ヲ得タルノ歎ナドニ用フベシ

(一〇) 一片ノ丹心汗青ヲ照ラス

故典 (宋文天祥零丁洋詩) 人生自古誰無死留取丹心照汗
青

解 汗青トハ火ヲ以テ竹簡ヲ炙リ汗セシメ其青ヲ取ラ
ハ書シ易クシテ且ツ出入ラズ之レヲ殺青トモ云ヒ又汗
青トモ云フ即チ書物ノ事ナリ僅カナ真心ナリトモ書物

ノ上ニ留メテ其名ヲ後世ニ照ラスト云フ意ナリ

(三) 三軍帥ヲ奪フベシ匹夫志ヲ奪フベカラズ

故典 (論語子罕篇) 子曰三軍可奪帥也匹夫不可奪志也

解 三軍トハ前後中ノ軍ナリ三軍ノ勇ハ人ニ在リテ奪

フユトテ得ルモ匹夫ナリトモ其志ハ自己ニ在ルユトテ

レハ他ヨリ之レヲ奪ヒ取ルユトハ能ハズ若シ奪ハル、

ナレハ志ト云フニ足ラズ故ニ志ハ堅固不拔ナルヲ要ス

ルナリ

(三) 脅肩諂笑

故典 (孟子滕文公章) 曾子曰脅肩諂笑病于夏畦

解 夏畦ト云フハ夏月畦ヲ治ル人ノ勞ナリ此勞ヨリモ

脅肩諂笑スル人ノ病ル、トナリ凡テ小人ノ諂諛媚笑ノ

状態ニ用フ。

(三) 水魚ノ交リアリ

故典 (蜀志諸葛亮傳) 與亮情好日密關羽張飛等不悅先主

曰孤之有孔明猶魚之有水也

解 魚水ヲ得ザレバ即チ死ス水ノ魚ニ於ケル一刻モ無

カルベカラズ故ニ水魚ノ交リトハ朋友親密ノ交リニ用

フベシ

(三) 芻蕘ノ言モ猶ホ聽クベシ况ンヤ其僚友ヲヤ

故典 (詩大雅板章) 先民有言詢于芻蕘

解 芻蕘ハ草又薪ヲ采ルモノナリ古ノ賢人詢フユトテ

好ムヤ芻蕘者マデノ言ヲ聽ケリ芻蕘ノ言聽クベクンバ

マシテ同僚ノ言ハ必ズ聽クベキナリトノ意ナリ

(三) 哲婦城ヲ傾ク豈ニ近クベケンヤ

故典 (詩經功章哲夫成城哲婦傾城懿厥哲婦爲臬爲鷓婦有長舌維厲之階亂匪降自天生自婦人云云)

解 哲ハ知ナリ知婦ノ多言ナルハ禍亂ノ始メナリ遂ニ臬鷓ノ怨ヲ逞フセント欲シ得テ城ヲ傾ケ國ヲ覆スモノナリ此禍亂天ヨリ降ルニアラズ唯夫レ婦人ノ猶知ヨリ生ズルナリ此ノ如キモノハ志アルモノ、近クベキニアラザルナリ

(三) 蝸角ノ争

故典 (莊子雜篇有國於蝸之左角者曰觸氏有國於蝸之右角者曰蠻氏時相與争地而戰伏尸數萬云云)

解 蝸ハ蝸牛ナリ蝸至小ニシテ兩角尤モ小トナス俗眼

ヨリ之ヲ觀レバ小モ大ナラザルハナシ道眼ヨリ之ヲ觀レバ大トシテ小ナラザルハナシ天下ハ一蝸ナリ梁國一蠻ナリ何ヲ以テ辨ゼンヤトナリ此句天下ノ英雄相争フニ喩フ

(三) 邂逅

故典 (詩經鄭風邂逅相遇適我願兮)

解 期セズシテフト出會フコトナリ

(三) 汗牛充棟

故典 (柳宗元文陸文通之書處則充棟出則汗牛云云) 解 書籍ノ多キヲ云フ

(三) 隴ヲ得テ蜀ヲ望ム

故典 (東漢光武紀) 人自苦不足既得隴又望蜀

解 一ツヲ得テ又一ツヲ得ント欲シ己レノ欲ヲ遂ゲン
ト欲スルノ意ナリ

(三) 霜ヲ履テ堅氷ヲ警ム

故典 (易履霜堅氷至)

解 霜ヲ見テ氷ノ結バンユトニ氣附クナリ早ク將來ノ
警戒ヲナスニ用フ

(三) 嚆矢

故典 (莊子在宥篇) 焉知曾史之不爲桀跖嚆矢也云云

解 射ルモノハ先ツ嚆矢ヲ以テ遠近ヲ定ム故ニ事ノ始
メヲ云フ

(三) 冰堅ノ幸ト云フベシ

故典 (後漢書王霸傳) 王郎移檄購光武光武南馳至下曲及

岸洿河候吏白河水流斷無船不可濟官屬大懼令霸往視之
霸還詭曰冰堅可渡遂前比至河冰亦合乃令霸護渡未畢數
騎而冰解

解 王霸河水ヲ候フトキ水流レテ渡ルベカラザリシナ
リ然レモ王霸衆ノ沮喪セシユトナ畏レ詐リテ冰堅フシ
テ渡ルベシト云ヘリ其ノ河ニ至テ水ノ流ルヲ見レバ
衆皆死ヲ決スベシ是レ王霸運ヲ天ニ任セシナリ恰モ好
シ河水正ニ結ア因テ渡ルユトナ得タリ困難中不意ノ仕
合セト云フユトニ用フベシ

(三) 泰山北斗ノ如クス

故典 (唐書韓愈以六經之文爲諸儒倡自愈沒其學盛行學
者仰之如泰山北斗)

解 泰山ハ高山ニシテ衆山ノ仰望スル所、北斗ハ衆人ノ仰ク所ナリ、世人賢者ヲ貴ヒ敬フニト、泰山北斗ノ如シト用ヒベシ

(言) 晝夜牙籌ヲ執テ會計ス

故典 (晋書王戎傳) 戎性好興利、每日執牙籌、晝夜算計、常若不足

解 牙籌トハ十露盤ノ事ナリ、日夜計算ヲナシテ利潤ヲ知ルト云フニトナドニ用フ

(臺) 尊俎ノ間ニ謀議ス

故典 (後漢馬融傳) 起謀於尊俎之間

解 尊ハ酒罇ノユト、俎ハ載牲ノ器ナリ、故ニ宴會ノ時ナドニ謀議スルニトニ用フ

(吳) 其言呐々辨シ難シ

故典 (禮檀弓) 其言呐々、然如不出諸其口

解 呐々ハ言ヒ難キナリ、其言語ノ分リニクキユトニ用フ、又辨論ノドモル人ヲ呐辨トモイフ

(詔) 圖南ノ鵬翼ヲ張ラント欲ス

故典 (莊子逍遙遊) 有鳥焉、其名爲鵬、背若泰山、翼若垂天之雲、搏扶搖羊角而上者九萬、絕雲氣、至青天然、復圖南且適南冥也云云

解 大ナル志ヲ持テ決起奮發シテ大ニ爲スコトアラントスルニ用フ、又志ノ大ナルヲ鵬志トモ用ヒタリ

(景) 日出テ、三竿

故典 (南齊書) 永明五年十一月丁亥日出、三竿朱色、黃色赤

暈。

解 朝日ノ高ク昇リタルニ用フ

(亮) 荀且記問ノ學ニ過キザルナリ

故典 (禮學記) 問之學不足以爲人師云云

解 學問スルニ慎密ニ索尋討究シテ心ニ會得スルニア

ラズ唯書籍ヲ記誦シテ人ノ問ヲ待ツヲ謂フ故ニ問ニ合

セニ考究セシ學問ト云フコトニ用フベシ

(器) 刀圭ヲ業トス

故典 (神仙傳) 沈義學道於蜀老君使玉女持金案盛藥賜之
曰此是神丹飲者不死夫婦各一刀圭云云本草ニ刀圭十分

方寸匕一準如梧桐子大也云云

解 醫業ヲ刀圭ノ業ト稱スルナリ

(三) 蚌鷸ノ争ヒ解ケズ

故典 (戰國策) 趙伐燕蘇代爲燕謂趙惠王曰今者臣來易水
蚌方出曝面鷸啄其肉蚌合而箝其喙鷸曰今日不雨明日不

雨必有蚌脯蚌亦謂鷸曰今日不出明日不出必有死鷸兩者

不肯解漁父得而併擒之今燕趙久相持以敝大衆臣恐強秦

之爲漁父也云云

解 蚌ノ鷸ト争ヒ解ケサルハ猶燕趙ノ争ニ比シ漁父ハ

即チ秦國ニ比セシナリ故ニ妄ニ争ヲナシ遂ニ局外ノ人

ニ勝ヲ制セラルニ至ルニ用フ

(三) 權輿

故典 (詩經秦風) 于嗟乎不承權輿云云

解 凡テ物ノ始メト云フコトニ用フ

(三) 金衣公子

故典 (開元遺事) 唐明香於禁苑見黃鶯呼爲金衣公子

解 鶯ノユトニ用フ

(四) 點心

故典 (輟耕錄) 今以早飯前及飯後午前午後哺前小食爲點心

解 朝夕ノ飯ノ外ニ食フモノアリ即チ茶菓子ト云フニ

同シ

(五) 世情紛紜爲メニ市ニ虎アリ曾母機ヲ投ズルガ如キノ情

ナキ能ハズ 故典 (戰國策) 龐葱與太子質於邯鄲謂魏王曰今一人言市有虎王信之乎王曰不二人言市有虎王信之乎王曰寡人疑

之矣三人言市有虎王信之乎王曰寡人信之矣龐葱曰夫市之無虎明矣然而三人言而成市虎今邯鄲去大梁也遠於市而議臣者過於三人願王察之云云又同書ニ費人有與曾子同名族者而殺人其母告其母曰參殺人母吾子不殺人織自若頃人又曰曾參殺人其母尚織自若也頃之一人又告之母懼

投杼踰牆而走云云 解 世ノ中ノ風說紛紜タルガ爲メニ其事ナキヲ信シテ

居ル人マデモ疑ヲ起スニ至ルノ義ニ用フベシ (吳) 臍ヲ噬ムノ嘆アルベシ

故典 (左傳) 莊公六年若不早圖後君噬臍

解 齊ハ臍ニ全シ悔ユルモ及バヌコトヲ慨クナリ

(四) 長鞭馬腹ニ及バズ

二十一

故典 (左傳宣公) 雖鞭之長不及馬腹。天方授楚。未可與爭云云

解 骨ヲ折リテ事ヲ成シ遂ゲント欲スルモ運ノナキハ詮方ナキユトニ用フ

(只) 唯是レ其一斑ノミ

故典 (晉書王猷之傳) 管中窺豹。時窺其一斑。

解 一局部ノミヲ知り得ルト云フユトナドニ用フ

(見) 嶄然トシテ頭角ヲ見ハス

故典 (韓退之文) 年少已成。人取進士。嶄然見頭角。衆謂柳氏有子云云

解 年少クシテ既ニ人ニ勝リタルヲ云フ

(否) 箕畢ノ圍始メテ解ク

故典 (書經洪範傳) 月經于箕。則多風。離于畢。則多雨云云

解 雨風ノ苦腦ノ解ケタルユトナ面白ク言ヒタルナリ

(三) 孟母斷機ノ教アリ

故典 (古列女傳) 及孟子既學而歸。孟母問學所至。孟子曰。自若也。孟母以刀斷其織。曰。子之廢學。若吾斷斯織也。孟子懼。旦夕勤學不息。師事子思。遂爲名儒云云

解 是レハ賢母ノ其子ヲ教訓スルユトニ用フベシ

(三) 豈ニ鹿豕ニシテ群聚セシヤ

故典 (孔叢子) 子高遊。趙客有鄒文李節者。相與友。及別。文節流涕交頤。子高徒握手而已。分背就路。其徒問之。子高曰。人生有四方之志。豈鹿豕哉。而常群聚乎。

解 人遠大ノ志ヲ抱クモノ碌々鹿豕ノ如クニシテ群聚

セザルナリ

(三) 無鹽ト毛嬙トハ唯其心ノ如何ニアリ

故典 (劉向雜事) 鐘離春者齊婦人極醜無雙號曰無鹽女云云又(莊子)毛嬙麗姬所人美也云云

(四) 解 婦人ナルモノハ其容貌ノ美醜ヲ論ズルヨリ唯其心ノ美醜如何ヲ知ルヲ要スト云フ意ナリ

(五) 朽索ノ六馬ヲ馭スルガ如シ

故典 (書五子之歌) 凜乎若朽索之馭六馬云云

(六) 解 朽ヲタル索ハ絶テ易シ六馬驚キ易シ朽索ハ馬ヲ馭スベキニアラザルナリ故ニ其危懼畏ルベキノ甚シキニ

喩フ

(七) 蓋シ衆中ノ巨擘カ

(一) 故典 (孟子滕文公下篇) 孟子曰於齊田之士吾必以仲子爲

巨擘焉云云

解 巨擘トハ大指ナリ衆小指中ニ大指アルガ如ク衆人中ニ於テ第一等ノ人物ト爲スト云フニトナリ

(二) 物ヲ玩ヘバ志ヲ喪フ

故典 (書旅葵篇) 玩人喪德玩物喪志

解 人ヲ侮ラバ德義ヲ失フ又耳目ノ好ム所ニ役セラレ、キハ己レノ志ヲ喪フテ遂ニ成ヌトナカルベシ故ニ

志アルモノハ物ヲ玩ブベカラズ

(三) 先入主トナル

故典 (漢書高帝紀) 初懷王與諸將約先入定關中者王之當此時秦兵強乘勝逐北諸將莫利先入獨項羽怨秦破項梁奮

勢願與沛公西入關

解 人ニ先ケテ關中ニ入リテ秦ヲ亡スモノハ之レニ主トナルトアルヨリ先入主トナルトアルナリ故ニ總テ事先ツ腦裡ニ入リテ後チヨリ來ル事ヲ俄ニ信ゼヌ事アルナド先入主トナルト言ヒタリ

(吳) 所謂死ヲ生シテ骨ニ肉スルモノナリ

故典 (左傳) 遠子馮曰吾見申叔夫子所謂生死而肉骨也

解 死ニ迫ルノ難ヲ救ヒシユト等ニ用ヒテ命ノ親ト云フ如シ

(亮) 駿馬痴漢ヲ馱シテ走ル

故典 (唐寅詩) 駿馬每馱痴漢走巧妻常伴拙夫眠

解 駿馬ハ好キ乘人ヲ乘セテ走レハ善キモ馬ヲ御スル

方モ知ラザル痴人ヲ乘セテ走ルコト屢々ナリ又物事巧ナル妻ハ何事モ爲ス能ハザレ甲斐性ナシノ夫ニ從フノ事屢々ナリ畢竟薄命ナル事ニ用フ

(杏) 苗ニシテ秀デザルモノアリ

故典 (論語) 子罕篇子曰苗而不秀者有矣夫秀而不實者有矣夫

解 穀ノ始メテ生ズル苗ナリ華ヲ吐クテ秀トイフナリ穀ヲ成ヌテ實ト云フ是レ即チ學デ成業ニ至ラザルコトナリ故ニ天才早熟チ自ラ恃ミテ遂ニ成スコトナキニ用フベシ

(三) 尾ヲ搖カシ耳ヲ帖レ以テ憐チ乞フ

故典 (韓愈應科目時與人書) 若俛首帖耳搖尾而乞憐者非

我之志也

解 自己ノ窮困ヲ訴ヘ救ヒテ受ケント欲シ耳ヲタレ尾
ヲ搖カシ憫ヲ乞フハ我が志ニ非ラズシテ卑屈ナル心ハ
持タヌト云フコトニ用フベシ

(三) 簞瓢自ラ樂ム

故典 (論語雍也篇) 子曰賢哉回也一簞食一瓢飲在陋巷人
不堪其憂回也不改其樂賢哉回也

解 簞ハ竹ニテ造リ食ヲ入ル、ノ器ナリ瓢ハ瓠ナリ顔
回ハ貧ニ處テ其樂ヲ改メズトナリ故ニ貧窮ニ暮シテモ
其心ニ憂トナサズ而モ自ラ樂シムト云フコトニ用フベ
シ

(三) 鞬櫜以來人皆文弱ニ流ル

故典 (左傳僖公章) 其左執鞬弭右屬櫜鞬云云

解 鞬トハ箭ヲ受クルモノ鞬トハ弓ヲ受クルモノ即チ
弓箭不用ニナリシヲ以テ鞬櫜ニ納メシヨリ以來ト云フ
意ニテ戰亂止ミテ天下平和ニナリシヨリ人皆專ラ文藝
ニ荒ミ氣風ノ柔弱ニ流レタリト云フニ用フ

(四) 素封ノ富以テ陶猗ニ比スベシ

故典 (史記貨殖傳) 無秩祿之奉爵邑之入而樂與之比者命
曰素封云云(史記) 范蠡裝其輕寶珠玉與私從乘舟出齊變姓
名謂鴟夷子皮父子治產至數十萬齊人聞其賢以爲相蠡隱
然日居家致于千金居官致卿相此布衣之極也久受尊名不
祥乃歸相印盡散其材懷重寶間行止於陶自謂陶朱公費累
鉅万魯人猗頓往問術焉蠡曰畜五牝乃大畜牛羊於猗氏十

年間賞擬王公故天下言富者稱二氏

解 素封ノ富ハ祿モナク爵邑モナク其富爵祿ヲ有ツモノト同一ナルヲ云フ陶猗トハ陶朱公ト猗頓ノ事ナリ共ニ財産ヲ治メテ其富王公モ及バズトナリ故ニ官ヨリノ給ヲモナク財産ヲ所有スルモノヲ稱シテ素封ノ富陶猗ニ比スト云フ

(壹) 事ハ古人ニ半バニシテ功必ラズ之レニ倍セン

故典 (孟子公孫丑章) 當今之時萬乘之國行仁政民之悅之猶解倒懸也故事半古之人功必倍之惟此時爲然
解 故典ノ意ハ人民困苦ニ際スルキニ當リ仁政ヲ行ヘバ民悅ンデ歸服ス故ニ仕事ハ古人ノ半分ダケ勞シテ功ハ古人ニ倍スルナルベシトノ意ナリ故ニ當時開明ノ世ニ處シテ事ヲ執ラバ其勞少ク古人ニ倍スルノ功ヲ奏スベシトノ意ニ用ヒ得ベシ

(貳) 善ヲ爲ス惟レ日モ足ラズ

故典 (書經泰誓我聞吉人爲善惟日不足凶人爲不善亦惟日不足)

解 吉人トハ善人ト云フニ同シ善人ノ善ヲナスニトハ終日之レヲ爲シテモ而モ猶ホ足ラズト爲ストナリ

(參) 循々トシテ序アリ

故典 (論語子罕篇) 夫子循々然善誘人
解 順序アル事ニ用フベシ

(肆) 逕庭

故典 (莊子逍遙篇) 大有逕庭

解 逕庭トハ隔遠ノ與トアリテ物ト物トノ差ノ甚シキ
ニ用フ

(亮) 書史ヲ涉獵スルユト人ニ倍徒ス

故典 (後漢書班超傳有口而涉獵書傳又孟子滕文公上篇)
或相倍徒或相什伯或相千萬云云

解 水ヲ涉リ山ニ登リテ獸ヲ獵スルガ如ク廣ク書物ニ
讀ミ涉リシユト人ニ倍徒ストナリ倍徒トハ倍ハ二倍徒
ハ五倍ナリ

(若) 若シ藥瞑眩セズンバ厥ノ疾瘳ヘズ

故典 (書經商書若藥弗瞑眩厥疾弗瘳云云)
解 藥ヲ飲ンデ目ノ「クヲム」ホドナレバ必ズキ、メアリ
テ其疾病愈エルナリ言フハ臣ノ君ヲ諫ムルニ其言良藥

ノ口ニ苦キガ如クナレバ君ノ行ヒ改マルト云フニ喩フ
又藥瞑眩シテ其病愈エルガ如ク人ノ艱難辛酸ヲ經テ後
チ其樂アルニ喩フルモ亦可トセン

(二) 二豎

故典 (左傳晉侯疾病求醫於秦秦伯使醫緩爲之未至公夢
疾爲二豎子曰彼良醫也懼傷我々焉逃之

解 病ノ事ニ用ヒタリ

(三) 精衛ノ石ヲ銜ムテ海ニ填ムルガ如シ

故典 (博物志) 發鳩山有水青鳥名精衛昔炎帝之女渡海溺
死其魄化爲精衛嘗啣西山木石以填東海
解 到底力ノ及バヌト云フ意ナリ

(四) 古人ヲ陳編ニ友トス

故典 (韓退之進學解) 窺陳編以盜竊云云

解 陳編トハ古書ナリ古書ヲ讀テ古人ト友タルノ意ナ

(齒) 易筮

故典 (禮記檀弓篇) 曾子寢疾病樂正子春坐於牀下曾元曾申坐

於足童子隅坐而執燭童子曰華而睨大夫之筮與子春曰止

曾子聞之瞿然曰呼曰華而睨大夫之筮乎曾子曰然斯季孫

賜也我未之能易也元起易筮云云

解 筮ハ簞ナリ其畫飾シタルモノハ大夫ノ筮ナリ曾子

大夫ニアラズ其病ムキ之ニ臥セシモ遂ニ筮ヲ易ヘシ

メテ死ス故ニ人ノ死スルユトヲ易筮ト用ヒタリ

(畫) 清風ニ御シテ華胥ニ遊ナ

故典 (列子黃帝晝寢夢遊於華胥國)

解 涼シキ風ニフレテ晝寢スルコトニ用ヒタリ

(癸) 宿昔青雲ノ志アリ

故典 (史記須賈曰賈不意君自致於青雲之上) (張九齡詩) 宿

昔青雲志

解 古クヨリ立身出精シテ高位高官ニ登ラント欲スル

志アルト用フルナリ

(壬) 曲學世ニ阿ル輩ト同日ニ語ルベカラズ

故典 (史記公孫弘傳) 曰毋曲學以阿世

解 己レノ學フ所ノ道ヲ曲ゲテ世ニ阿諛スルモノハ同

シ日ニ語ルコトヲナサザルナリ

(庚) 山河帶孺ノ誓

故典 (前漢書功臣表) 漢封爵之誓曰使黃河如帶泰山若礪國以永存爰及苗裔云云

解 黃河泰山皆大ナルモノ其者ガヨシヤ帶礪ノ如クナルコトアルモ國ハ亡ビズ子孫永々ニ及ブトナリ故ニ固キ誓ヒテ言ヒシナリ

(九) 青衿

故典 (詩鄭風) 青々子衿悠悠我心云云

解 少年諸生ナイフ

(八) 青州從事

故典 (世說) 晉桓温有主簿善別酒輒令先嘗好者謂青州從事惡者謂平原督郵以青州有齊郡言飲好酒至臍平原有革縣飲惡酒止臑上云云

解 好キ酒ノ異名ニ用ヒタリ

(七) 臯比下

故典 (左傳) 宋師次于郟公子偃自雲門竊出蒙臯比大破宋師

解 臯比ハ虎ノ皮ナリ虎ノ皮ノ下ナレバ高位ノ人ナドハ坐ニ虎ノ皮ヲ敷ケリ故ニ御座下ト云フモ全シ又虎皮下トモ用ヒタリ

(六) 目ニ一丁字ナシ

故典 (唐書張弘靖傳) 汝輩挽兩弓石不如識一丁字云云

(五) 鹵簿ノ列ニ陪ス

故典 (梁書王僧孺傳) 道遇中函鹵簿云云

解 鹵簿トハ供ノ行列ナリ

(酉)麗澤ノ契

故典 (易說卦)麗澤兌。君子以朋友講習。

解 文學ヲ以テ交ヲ結ブナ云フ

(壬)纏頭ヲ抛テ之レヲ祝ス

故典 (唐貴妃外傳)王元賓富而無學嘗會客明月人間必多

佳話元賓曰但費錦纏頭耳云云

解 纏頭トハ立派ナルハナナリ歌舞セシモノナドヘハ

ナリナルコトナリ

(癸)青眼欣如

故典 (晉書)阮籍能爲青白眼云云

解 己レノ意ニ適スルノ人來レバ青眼ヲナシ適セザル

ノ人來レバ白眼ヲナスナリ白眼ハ俗ニ「ニラム」ト訓ズ青
眼ハ欣ユバシキ眼ナリ

(甲)豈ニ辨髦ノ之ヲ敝アルガ如キモノナランヤ

故典 (左傳昭公)豈如辨髦而因以敝之

解 辨ハ縹布冠ナリ髦ハ童子ノ垂髦ナリ凡ソ冠ヲ加フ
ノ禮ハ先ツ縹布冠ヲ用ヒテ垂髦ヲ括ルナリ三タビ之レ
ヲ加ヘテ後チ縹布冠ヲ棄テ去ル復々用井ザルコトナレ
バ此語ノ意ハ童子ノ物ノ如ク輕蔑シテ敝リ棄ツベキモ
ノニアラズト云フコトニ用フベシ

(乙)薰薜ヲ辨セズ

故典 (左傳)一薰一薜十年猶有臭云云

解 薰ハ香草ナリ薜ハ臭草ナリ善キモノモ惡シキモノ

モ別ツユトガ出來ザルニ譬スベシ

(癸) 青蠅白玉ヲ汗ス

故典 (詩經) 營々青蠅止于樊豈弟君子無信讒言又埤雅廣

要青蠅糞能敗物雖玉猶不免云云

解 蠅ト云フ虫ハ白ヲ汗シテ黒カラシムルモノナリ讒

人ノ君子ヲ害スルニ喩フ

(子) 國色

故典 (左傳) 驪姬國色也

解 一國中ノ美人

(丑) 艱難免カレ難シ是レ天歩

故典 (詩小雅) 天歩艱難之子不猶

解 天歩ハ猶時運ト云フガ如シ天歩艱難ハ時運ノ惡キ

事ナリ

(寅) 星拱シテ其德ヲ慕フ

故典 (論語) 爲政以德譬如北辰居其所而衆星拱之云云

解 衆多ノ者其人ヲ慕フテ歸向スルユトニ用フベシ

(卯) 翻雲覆雨ハ情海ノ常ナリ

故典 (杜甫) 貧交行 翻手作雲覆手雨紛々輕薄何須數

解 人情ノ輕薄ナルユトナリ人情ハ測リ難ク掌ヲ反ス

間ニ忽々變態ヲ生ズ輕薄多端ナルハ情ノ世界ニ有リ勝

テノ事ナリトナリ

(辰) 人中ノ龍

故典 (晉書) 宋纖隱居太子馬岌造之不見岌歎曰名可聞身

不可見人中龍也

解 人中ノ勝レタルモノヲ云フ

(望) 甘棠ノ念

故典 (詩經甘棠篇蔽芾甘棠勿剪勿伐召伯所友)

解 周ノ召伯ト云フ人諸國ヲ循行シテ文王ノ善政ヲ施

ク時ニ甘棠ノ下ニ舍ル後人其德ヲ思フテ其樹ヲ傷ルニ

忍ビズ故ニ人民ノ其德ヲ慕フユトニ用フ

(突) 世ノ中ハ塞翁ノ馬ナリ

故典 (淮南子) 塞上北叟失馬人皆吊之叟曰此何詎不爲福

數月馬將胡駿馬而至人皆賀之曰此何詎不爲禍家富馬良

子孫騎墮而折髀人皆吊之父曰此何詎不爲福一年胡夷大

至丁壯者戰死十九此子以跛故父子相保

解 禍アリバ福アリ福ハ又禍ニ變ズ故ニ禍福ノ輪廻ス

ル譬ニ用フ

(老) 不龜手ノ藥モ之ヲ大用スレハ封侯ヲ得ル

故典 (莊子逍遙遊) 宋人有善爲不龜手之藥者世々以泝澠

統爲事客聞之請買其方百金聚族而謀曰我世々爲泝澠統

不過數金今一朝而鬻技百金請與之客得之以說吳王越有

難吳王使之將冬與越人水戰大敗越人裂地封之

解 不龜手トハ寒中手ヲ水ニ入ルモ「アカギレ」ノセヌユ

トナリ泝澠統トハ綿ニテ織リタル切レテ洗濯シサラス

職業ナリ故ニ微ナルモノデモ能ク之ヲ用フレバ遂ニ大

功ヲ奏スルト云フ譬ニ用フ

(次) 瓜田ノ履李下ノ冠

故典 (文選) 瓜田不納履李下不整冠

解 瓜田ニテ履ヲ穿ツトキハ瓜ヲ盗ムカト思ハシ李樹ノ下ニテ冠ヲ整ヘシニハ李實ヲ摘ルカト思ル、ノ嫌ヒアレバナリ故ニ疑ヒテ受クルカラ慎ムベキユト、ナスト云フユトニ用フ

(九) 反目

故典 (易小畜九三爻辭) 輿說輻夫妻反目。

解 怒目ニテ反視スルナリ

(十) 瓜ヲ種ユルノ地ヲ存ス

故典 (史記蕭何世家) 秦ノ東陵侯種瓜長安城東。解 祖先傳來ノ田地ヲ持テ居ルトイフユトニ用ヒタリ

(十一) 就將ノ良計ナリ

故典 (詩周頌) 日就月將云々

解 就ハ成ナリ將ハ進ナリ成就進步スル良キ計畫ナリト云フユトニ用フベシ

(十二) 萱堂

故典 (詩經伯兮篇) 焉得諼草言樹之背云々

解 諼草ハ「ワ」スレ「草」ナリ背ハ北堂トアリテ此詩ハ婦人が其夫ノ久シク征役ニ從フテ以テ其憂思ノ深キユトヲ述ベシ作ナレドモ其婦貞操ノ徳アリト云フベシ故ニ人ノ母ヲ稱スルニ用フ

(十三) 人口ニ膾炙ス

故典 (孟子盡心章) 公孫丑問曰膾炙與羊棗孰美孟子曰膾炙哉

解 膾ハスヤ炙ヤキモノハ誰レモ美味トスル所ナリ故ニ人ノ口
々ニ賞美シテ長ク後世ニマデ言ニ傳フルユトニ用フ

(四) 縵ハス身ニ纏フ能ク勤儉シテ置カラズ

故典 (左傳宣公) 畢路藍縵以啓山林

解 藍縵ハ敝衣ナリ敝衣ヲ身ニ着クルヲ厭ハズ能ク勤
儉スル故ニ需用ニ乏シカラズ

(五) 牛溲馬勃モ良醫之レテ用井レバ其効多カラズトセズ

故典 (韓文公進學解) 牛溲馬勃敗鼓之皮俱收竝蓄待用無
遺者醫師之良也

解 牛溲ハ牛ノ小便ナリ馬勃ハ馬ノ屎菌ナリ牛溲馬勃
モ良醫ハ之レテ善用ス故ニ其功多シ是レニ依テ物ハ用
方ニヨリテ有功トモナリ無功トモナルモノナレバ人々

(三) ルモノ能ク心スベキユトナリ

(一) 家ニ儻石ノ儲ナシ

故典 (後漢楊雄傳) 家産不過十金乏無儻石之儲晏如也
解 石ヲ一石トナス二石ヲ儻トナス言フハ家ニ僅カノ
米穀ノ儲モナシトナリ貧家ノ狀ニ用フ

(二) 我レ内ニ省ミテ疚シカラズ

故典 (論語顏淵篇) 司馬牛問君子子曰君子不憂不懼曰不
憂不懼斯謂之君子矣乎子曰内省不疚夫何憂何懼

解 身ニ惡行ナケレバ心ニ反省スルモ病ムベキユトナ
シ心ノ内ニ病ムベキユトナケレバ憂懼ノ生ズルユトナ
シ

(三) 斗筭ノ人素ヨリ論ズルニ足ラズ

故典 (論語) 噫斗筭之人何足算也

解 鄙細ノ人ヲ云フ此輩ハ共ニ擧ゲテ議論スル程ノモノデナシト用フルナリ

(五) 科ヲ同フセズ

故典 (論語) 射不主革爲力不同科

解 彼我相比シテ等差アルヲ云フ

(六) 聊カ意ヲ毛錐子ニ寄ス

故典 (五代史) 弘肇曰安朝廷定禍亂直須長槍大劔毛錐子安用哉

解 毛錐子ハ筆ノユトナリ我カ意ヲ筆ニ托シテ言フトニ用フベシ

(三) 年ハ古稀ニ近ク

故典 (杜甫詩) 人生七十古來稀

解 此詩ノ意ヨリ七十ヲ古稀ノ年トイフ

(三) 諸孤ヲ撫抱シテ長育成就凱風ノ劬アリ

故典 (詩經凱風篇) 凱風自南吹彼棘心々々天々母氏劬勞解 母親ノ衆子ヲ撫育成長セシムルノ苦勞ヲ云フ

(三) 杞憂ヲ抱ク

故典 (列子天瑞篇) 杞國有人憂天地崩墜身無所寄癡於寢食云云

解 杞國ノ人毎ニ天ノ墜キ其身ノ居ル所ナカラシムト憂ヒテ寢食ヲ止メルニ至リシトナリ故ニ取越苦勞ニテ凡テ餘計ノ事ヲ心配スルニ用フベシ

(三) 呱呱乳ヲ求ム

故典 (書經) 辛壬癸甲啓呱々而啼云云

解 赤子ノ母ヲ慕ヒ乳ヲ求メテ啼クヲ形容セシナリ

(三) 踊三百

故典 (左傳) 魏擊東胸見使者曰以君之靈不有寧也距躍三百曲踊三百

解 距躍ハ超越ナリ曲踊ハ跳踊ナリ喜極メテ三百タビモ踊ルト云フユトナドニ用フ

(三) 九牛ノ一毛ノミ

故典 (漢書) 司馬遷傳若九牛一毛云云又(晉書) 許巢讓天下小人爭半錢此之相距何常九牛一毛云云

解 澤山アル中ノ僅カナルユトナリト用ヒタリ

(三) 糊口

故典 (左傳) 寡人有弟不能協和而使糊其口于四方

解 僅カニ食事ヲナスノ意ナリ

(三) 墨恬鄉

故典 (青箱記) 晝寢爲墨甜

解 晝眠ヲイフ

(三) 鼻祖

故典 (揚雄傳) 有周之嬋媯或鼻祖于汾隅

解 人ノ胚胎ハ鼻先ツ其形ヲナス故ニ始祖ト云フニ用

フ

(三) 春風採餘ノ草化シテ螢火トナル

故典 (禮) 月令 腐草化爲螢

解 春ノ採リ餘リノ草ガ化シテ螢トナルトナリ

(三) 物色

故典 (後漢書嚴光傳) 光武以物色訪光

解 畫像ヲ以テ人ヲ探カスコトニ用フ

(三) 羝羊籬ニ觸ル、ノ悔アリ

故典 (易經) 羝羊觸籬羸其角云云

解 妄進シテ禍ヲ得ルニ至ルコトナリ

(三) 楚材晉用セラル

故典 (左傳) 聲子曰 晉卿不如楚其大夫則賢皆卿材也。如杞

梓皮革自楚往也。雖楚有材晉實用之。

解 我レニ用タルベキモノヲ用フル能ハズ却テ他ノ用

ニナルト云フコトニ用フ

(三) 一々學グルハ蛇足ナルベシ

故典 (史記楚世家) 陳軫見昭陽曰 有賜其舍人酒一卮者曰

請畫蛇爲足先成者飲酒一人先成持酒曰 吾能爲之足未成

後成者奪酒曰 蛇本無足子安能爲遂飲酒云云

解 蛇本足ナシ然ルニ足ヲ畫クハ餘計ノコトナリ餘計

ノコトノ爲メニ酒ヲ奪ハル故ニ餘計ノ事ナリト云フ意

ニ用フ

(三) 杜撰

故典 (湘山野錄) 宋石中立在中書盛度撰張文節公知白神

道碑石急問曰 誰撰盛卒對曰 度撰滿堂大笑云云

解 度ハ杜ト音通ズルヨリ杜撰ト用ヒ來リタリ凡テ疎

率ニシテ謬リ多キコトニ用フ

(三) 幕府

故典 (前漢李廣傳) 衛青征匈奴絕大漠大克獲帝就拜大將軍於幕中府故曰幕府云云
解 將軍ヲ幕府ト云フ

(三) 魯陽ノ戈ト一般ノ失策トナス
故典 (淮南子) 魯陽公與韓戰々酣日暮援戈而麾之日爲之返三舍云云
解 畢竟無益ノ所爲ヲナス失策ナリ

(三) 物故
故典 (史記司馬相如傳) 治道二歲不成士卒多物故師古曰物故謂死言其同于鬼物而故一說不欲斥言但云其所服用之者皆已故耳
解 死スルコトニ用フ

(三) 學者ナシテ亡羊ノ嘆アラシム
故典 (列子說符) 楊子之隣人亡羊追之既反曰岐路之中又有岐焉不知所之所以反也楊子曰大道以多岐亡羊學者以多方喪生學非本不同而末異若是唯歸同反一爲亡得喪云云
解 事紛雜ニシテ學ブモノ其方針ヲ迷フコトニ用フ

(三) 盲龜ノ浮木ニ逢フガ如シ
故典 (阿含經佛告) 諸比丘譬如大海中有一盲龜壽無量劫百年一過出頭浮有一木正有一孔漂流海浪隨流東西盲年一出得遇此孔云云
解 盲龜年ニ一タビ頭ヲ出シ木孔ニ遇フヲ得ル其喜ビ知ルベキナリ故ニ逢ヒ難キニ逢フノ悦ヲ言フ

(三) 翁ヤ覽揆ノ辰ニ値フ

故典 (楚辭)皇覽。揆余于初度。錫余以嘉名。

解 誕生日ノユトニ用フ

(三) 龍泉太阿ヲ以テ茶根ヲ截ルガ如シ

故典 (豫章記)斗牛間常有紫氣張華聞雷煥妙達象緯間之煥曰寶劍之精在豫章豐城即補煥豐城令到縣掘獄屋基下得一石函中有雙劍並刻題一曰龍泉一曰太阿云云

解 龍泉太阿ハ俱ニ名劍ナリ名劍ヲ以テ茶根ノ如キモノヲ截ル最モ容易ナリ故ニ難ナク爲スベキユトニ用フ

(三) 豐亨豫大之時ニ遭遇ス

故典 (易豐卦疏)豐者多大之名盈足之義云云(易豫卦疏)謂之豫者取逸豫之義以和順而動不違衆々皆悅豫也云云

解 太平安樂ノ時ニ遇フヲ云フ

(三) 竹葉

故典 (文選張協七命)豫北之竹葉又々(尺牘)雙魚注(釀酒以竹葉雜其中極清潔故謂酒爲竹葉)

解 酒ノ異名ニ用フ

(三) 輪奐其美ヲ極ム

故典 (禮記檀弓)晉獻文子成室晉大夫發焉張老曰美哉輪焉美哉奐焉云云

解 輪ハ輪囷高大ナルヲ云ヒ奐ハ奐爛衆多ナルヲ云フ
宮室ノ立派ナルコトナリ

(三) 嗟予襪線強テ觚牘ヲ秉ル

故典 (瑣言)偽蜀韓昭爲禮書琴棋書算射法悉涉獵李台瓊

日韓八座藝如坼線襪無一條長

解 藝ガ拙ナルニ強テ文書ヲ作ルトナリ

(三) 鵲鳩ノ情

故典 (詩經常棣之篇) 脊令在原兄弟急難每有良朋况也永歎

解 鵲鳩ハ飛ビ鳴キ行ケハ尾ヲ搖ス急難ノ意アリ言フ心ハ兄弟ノ急難ノ時ハ良朋ニテモ唯永歎シテ力或ハ及バザルユトアルモ兄弟ハ直チニ相救フノ情アリ此意ニ用ヒテヨシ

(四) 桑榆ノ暮景眞ニ憐ムベキカナ

故典 (淮南子) 西日垂影在樹端曰桑榆云云又(後漢書馮異傳) 失之東隅收之桑榆

解 人ノ老年ニ至リシテ可憐ニ思フユトナリ

(五) 蹇々トシテ匪躬ノ節ヲ持ス

故典 (易蹇六二) 王臣蹇々匪躬之故云云

解 王ノ爲メニ力ヲ致シ身ヲ惜マズト云フユトナリ

(六) 執友

故典 (禮曲禮) 見父之執云云

解 父ノ友ナリ

(七) 縞紵ノ歡ヲ啓ク

故典 (左傳吳季札適鄭) 見子產如舊相識與之縞帶子產獻紵衣

解 朋友相親愛スルノ情ニ用フベシ

(八) 予豈ニ忸怩タラザランヤ

故典 (書經五子之歌) 顔厚有怙^〇怙^〇
解 慙^〇ヲ入ルユトニ用フベシ

(三) 樂ハ虚ヲ出シ蒸ハ菌ヲナス

故典 (莊子齊物論) 樂出虚蒸成菌^〇日夜相代乎前^〇不知所萌^〇
云云

解 樂ハ音樂ノユトナリ音聲ハ發揚スルモ忽チニシテ
止ミ虚トナル是レ有ハ必ズ虚トナルナリ又菌ハ腐敗ノ
氣蒸シテ自然ニキノユテ生ズ是レ無ハ必ズ有トナルナ
リ故ニ實ハ虚ヨリ生シ虚又實ヲ成スト云フユトニ用フ
ナリ

(四) 一犬虚ニ吠ヘテ萬犬實ヲ傳フ

故典 (潜夫論) 一犬吠形百犬吠聲

解 一犬形ニ驚テ吠ユルトキハ他ノ多クノ犬其聲ニ應
ジテ吠出スナリ故ニ一人虚事ヲ言ヒ出スキハ衆皆喧傳
シテ遂ニ其事ヲ實ラシク傳フルニ至ルユトニ用フ

(五) 拮据鼯勉事ニ茲ニ從フ

故典 (詩幽風) 予手拮据云云

解 動作輟マズ其職務ニ勤勞スルユトナリ

(六) 鹽梅ノ才ニ和羹ノ才

故典 (書經說命) 若作和羹爾惟鹽梅云云

解 鹽ハ羹ニ鹹味ヲ添ヘ梅ハ酸味ヲ添フルモノ此二ツ
ノ者ヲ以テ羹ノ味ヲ調和スルナリ人君ノ美質アルモノ
賢人ヲ得テ輔導セシメ能ク徳ヲ成スコト恰モ鹽梅ヲ以
テ羹ヲ調和スルニ全シ故ニ主君ヲ輔導スル才ト云フベ

シ
(四) 豹死シテ皮ヲ留ム人死シテ名ヲ留ム

故典 (五代史王彦章傳彦章ハ武人不知書常爲俚語曰豹死留皮人死留名其于忠義蓋天性)
解 豹ノ皮ハ立派ナル故ニ死シテモ其皮ヲ留メテ世ノ貴重品トナル人モ亦忠節ノ行ヒテナシテ死後天下ニ名ヲ留メ遺ストノ意ニ用フベシ

(五) 鳧短鶴長

故典 (莊子鳧脛雖短續之則憂鶴脛雖長斷之則悲)
解 鳧ノ足短キモ鶴ノ足ノ長キモ皆之レ天賦ノ性ナリ天賦ノ性ハ之レテ如何トモスベカラザルナリ
(六) 九仞ノ功ヲ一簣ニ虧ク

故典 (書經旅獒爲山九仞功虧一簣)

解 山ヲ成スニ今一簣(土籠)ヲ運バズシテ止マバ山ヲ成サザルナリ學生自ラ強メテ止マザレバ少テ積テ多テ成スベシ然ルニ中途ニシテ廢スルキハ前ノ功勞盡ク棄タリ惜ムベキユトナルベシ故ニ成業スルト否トハ唯是レ我が勉強ノ如何ニ在ルトノ意ニ用フ

(七) 億料奇中

故典 (論語先進篇賜不受命而貨殖焉億則屢中)
解 才識ノ明ナルハ能ク事ヲ料テ而シテ必ラズ中ルナリ凡テ其企業ノ目的ニ達スルヲ云フナリ

(八) 德義地ヲ掃フ

故典 (文選衣冠禮樂掃地無餘云々)

解 世ノ人情浮薄ニナリ德義地ヲ掃フテ少シモ無キニ

(一) 至リシトナリ

(二) 笈ヲ負フテ東京ニ遊ブ

故典 (史記蘇秦傳) 負笈從師

解 書篋ヲ負フテ東京ノ地ニ遊學スルト云フエトナリ

(三) 天下皆其風采ヲ相望ス

故典 (晉書景帝紀) 雅有風采沈毅多大畧

解 天下ノモノ皆其人物ノ頼ミトスベキコトヲ知り其

人ノ風儀恰好ヲ慕シク思フナリ

(四) 網羅シテ細大遺サズ

故典 (漢書王莽傳) 網羅天下異才之士至者前後千數

解 賢者ヲ招キ寄スルコト網ニテ羅スルガ如ク一切遺

ラズ推擧スルコトナリ然シ總テ大小洩ラサズト云フ意ニ用フベシ

(五) 領下ノ珠ヲ得タリト云フベシ

故典 (莊子列禦寇章) 夫千金之珠必在九重之淵而驪純黑

色馬龍領下

解 中々得難キモノヲ得タルニ喩ヘタリ

(六) 皆畫餅ニ屬ス慨スベキナリ

故典 (三國志魏文帝謂盧毓曰) 名士如畫地爲餅不可啖

解 無益ノ事ニナリテ嘆カハシキコトナリト云フニ用

フ

(七) 足下ノ軒渠ヲ博ス

故典 (蘇子訓傳) 見識父母軒渠笑悅云云

解 軒渠トハ笑ヒト云フコトナリ
(庚) 常山ノ蛇勢

故典 (孫子九地篇) 善用兵者譬如率然率然者常山之蛇也
擊其首則尾至擊其尾則首至擊其中則首尾俱至
解 文章ノ首尾照應スルコトニ用フ

(亥) 驥尾ニ附ク

故典 (史記伯夷傳) 顏淵雖篤學附驥尾而行益顯
解 先達ノ人ニ從フテ事ヲ爲スヲ云フ

(子) 齊東野人ノ語

故典 (孟子) 咸丘蒙問曰語云盛德之士君不得而臣父不得
而子舜南面而立堯帥諸侯北面而朝之瞽瞍亦北面而朝之
舜見瞽瞍其容有蹙孔子曰於斯時也天下殆哉岌々乎不識

此語誠然乎哉孟子曰否此非君子之言齊東野人之語也

解 齊東トハ註ニ齊國ノ東鄙ナリトアリ是レ「ツマラヌ」
モノ、言ヲ云フナリ

(丑) 舞馬ノ災ニ罹ル

故典 (晉書藝術傳) 黃平問統(索統)曰我昨夜夢舍中馬舞數
十人向馬拍手此何祥也統曰馬者火也舞爲火起向馬拍手
救火人也平未歸而火作

解 火難ニアヒシヲ云フ

(寅) 箕裘ヲ繼グ

故典 (禮學記) 良冶之子必學爲裘良弓之子必學爲箕
解 良冶トハ冶鑛ノ家ナリ金鏡ヲ陶鎔シテ以テ破器ヲ
補治ス其子ハ獸皮ヲ補ヒ續ギ合セテ能ク裘ヲ爲ルニ至

ル又良弓トハ善キ弓ヲ作ルノ家ナリ其子ハ父母ノ爲ス所ヲ見テ柳條ヲ取テ之レヲ撓メテ箕トナスヲ學ブナリ是レニ因テ見レバ箕裘相繼グトハ父祖ヨリ傳フル業ヲ繼グヲ云フ

(三) 之ヲ東隅ニ失フト雖モ願クハ之レヲ桑榆ニ收メシ

故典 (後漢書馮異傳) 破赤眉賊上璽書勞異曰始雖垂翅回溪終能有翼澠池可謂失之東隅收之桑榆

解 彼レニ失ヘバ此ニ得ルノ意ナリ故ニ此語ハ前過ヲ知リテ之レヲ改メント欲スルト云フコトニ用ヒヨシ

(四) 鬱攸之災ニ罹ル

故典 (左傳) 司驛火火踰公宮桓僖災子服景伯命濟濡帷幕鬱攸從之云云

解 鬱攸ハ火氣ナリ故ニ火事ノ災ニ逢フコトナリ

(五) 綠林——白波

故典 (後漢書劉元傳) 諸亡命聚藏于綠林山中注謂綠林地名在荆州當陽縣云云又(清人著通俗編) 自李涉有綠林豪客夜知聞句後人竟稱此輩爲綠林云云又(後漢書靈帝中平元年張角反皇甫嵩討之角餘賊在西河白波谷時俗號白波賊)

解 孰レモ盜賊ノ事ニ用ヒタリ

(六) 文ハ能ク五鳳樓ヲ作ルノ手ナリ

故典 (談苑) 韓浦韓泊能爲古文泊常輕浦語人曰吾兄爲文譬如繩樞草舍庇風雨而已予之文造五鳳樓手也

解 文ニ巧ミナルヲ云フ

(四) 國是ヲ定ム

故典 (劉向新序) 楚莊王問於孫叔敖曰寡人未得所以爲國是也孫叔敖曰國之有是衆非之所解也

解 國是トハ國家ノ公論ナリ

(五) 況ンヤ親炙セラル、者ニ於テナヤ

故典 (孟子) 奮百世之上百世之下聞者莫不興起也非聖人而能若此乎而況於親炙之者乎

解 親炙ハ親近シテ之レニ薰炙セラル、トナリ故ニ平日其人ト共ニ居リ親シク其人ニ化セラル、ナリ

(六) 骨董

故典 (庶物始原) 以骨爲器者辨之甚難年久更不知爲何骨董者知也。懂也。知古物爲何骨所成故曰骨董

解 道具ノユトナ云フ

(七) 泚頰

故典 (孟子) 蠅蚋蛄蟻之吮而視之其頰有泚

解 泚ハ汗ノ出テタル貌ニテ羞テ頰ニ汗ヲ生ズルユトナリ

(八) 熊羆ノ祥

故典 (詩經小雅斯干之篇) 大人占之維熊維羆男子之祥云

解 熊羆ハ強力勇壯ニシテ男子ノ祥ナリ故ニ男子出生ノ兆ニ用フ

(九) 蟬ニ五徳アリ

故典 (晉陸雲賦) 晉人稱鷄有五徳而作者賦焉至於寒蟬頭

上有綏則其文也。含氣飲露則其清也。黍稷不享則廉也。處不巢居則其儉也。應候守節則其信也。

解 蟬ニハ文清廉儉信ノ五徳アルトナリ

(三) 泰山頽レ梁木壞ル

故典 (禮記檀弓) 孔子蚤作負手曳杖消搖於門歌曰泰山其頽乎梁木夫壞乎哲人其萎乎云云

解 泰山ハ衆山ノ仰グ所ナリ而シテ頽レ梁木ハ衆木ノ仰グ所ノモノナリ而シテ壞ル哲人モ亦衆人ノ仰望セラ
ル者ナリ而シテ萎ム皆其放フ所ヲ失フト云フコトナ
リ故ニ頼ミトシテ仰ギシ人ノ死セシナドニ用フベシ

(四) 祖ヨリ光アリ

故典 (書太誓) 殺伐用張于湯有光云云

解 先祖ヨリモ學行ナドノ優レテ光リアルト用ヒ得ベシ

(五) 頭ニ敗天公ヲ戴ケリ

故典 (本草) 敗天公弘景曰此乃人所載竹笠之敗者李時珍曰穹天論云天形如笠而冒地之表則天公之名蓋取于此云

解 敗天公トハ敗レタル笠ナリ

(六) 穉穢子

故典 (魏程曉之詩) 今世穉穢子觸熱到人家又夕(類篇)穉穢不曉事云云

解 惡容ノユトニ用ヒタリ

(七) 絳樹青琴皆其頽ヲ掩フ

故典 (初學記) 絳樹善舞矣古人文有曰今之妙舞莫巧於絳樹青琴善歌矣古人詩有曰歌唱青琴女。

解 舞ヤ歌ノ上手ナリト賞シ絳樹(美女ニシテ舞ニ巧ナリ)ヤ青琴美女ニシテ歌ニ妙ヲ得タリ(ガ其顔ヲ掩フテ羞ヅルトナリ)用ヒ得テ面白キ語ナリ

(三) 百二ノ山河

故典 (史記高帝紀) 持戟百萬秦得百二云云

解 天下ト云フガ如シ

(四) 空谷ノ足音登然タルヲ聞テ喜ブ

故典 (莊子) 夫逃空虛者聞人足音則登然而喜矣云云

解 僻地ノ淋シキ處ニ居テ不圖人ノ來ル足音ヲ聞キテ喜ブニトニ用フ

(五) 此君ヲ庭前ニ移シ栽ウ

故典 (晉書) 王子猷愛竹字之曰君此君一日之不可無

解 竹ノ文ナド作ルキニ竹ノ異名ニ此君ト用ヒテヨシ

(六) 食スルニ魚ナク出ヅルニ車ナシ

故典 (史記孟嘗君傳) 馮驩聞孟嘗君好客躡屣而見之置傳舍彈其劍而歌曰長鋏歸來乎食無魚孟嘗君遷之幸舍食有魚矣復彈劍而歌曰長鋏歸來乎出無車遷之代舍出入乘輿車矣又彈劍歌曰長鋏歸來乎無以爲家

解 食時ニ魚肉ノ美味ナク出ヅルニ車馬ナキヲ嘆ズルニトニテ貧書生ノ境遇等ニ用ヒ得テヨシ

(七) 一騎當千

故典 (李陵答蘇武書) 疲兵再戰一以當千

解 此方ノ一人ガ先方ノ千人ニモ當ルトナリ兵士勇戰ノ有様ニ用フ

(三) 科ニ盈テテ進ム

故典 (孟子) 盈科而後進放于四海

解 水ノ流ル、ヤ穴アレバ先ツ之レニ盈テテ後テ向フ流レ進ミ遂ニ四海ニ出ルナリ故ニ事ヲ爲スモ漸進シテ後テ大成スルコトニ用フベシ

(四) 切磋琢磨

故典 (詩經) 如切如磋如琢如磨

解 學問藝術ヲ磋キ勵ムト云フコトナドニ用フ

(五) 絶交

故典 (戰國策) 西生秦患北絶齊交則兩國兵必至矣又史

記樂毅傳古之君子交絶不出惡聲

解 朋友互ヒニ其意見ノ合ハザル所ヨリ其交リテ絶テ交際セヌコトナリ

(六) 峨々タル高山洋々タル流水

故典 (列子) 伯牙善鼓琴鍾子期善聽伯牙鼓琴志在高山子期曰善哉峨々乎若泰山志在流水子期曰善哉洋々兮若江河云云

解 峨々ハ山ノ高キ良洋々ハ水流ル、良以テ高山流水ヲ形容シタリ

(七) 兄弟鬩牆ノ聲アルモ而モ亦其懿親ヲ廢テズ

故典 (詩經常棣篇) 兄弟鬩于牆外禦其務云云又(左傳) 宣辰曰兄弟雖有小忿不廢懿親

解 兄弟不幸ニシテ内ニ相和セザルコトアルモ外他人ノ侮ハ同心協力シテ之レヲ禦ギ嘗テ其懿親(懿ハ美ナリ)ヲ棄テザルトナリ

(三) 椿庭疾ニ遇フヤ深シ

故典 (莊子)上古有大椿者以八千歳爲春八千歳爲秋云云
解 父ノ大病ニアホシコトニ用ヒタリ父ノ事ヲ椿庭ト用ヒシハ古ニ椿トイフ大木アリ此木ハ人間ノ八千歳ヲ以テ一春一秋トナス程ノ長壽ノモノナリ故ニ子タルモノハ父ノ長壽ナラシコトヲ欲シ椿ヲ以テ父ノ異稱トセシナリ

(四) 宛然トシテ幽風七月ノ圖ヲ畫出セリ

故典 (詩經幽風)ニ七月ノ篇アリテ周公成王ヲシテ稼穡

ノ辛酸ヲ知ラシムル爲メニ農家一年中ノ苦勞ヲ擧ゲタリ

解 農家稼穡ノ艱難苦勞ヲ述ブルニ用ヒテ可ナリ

(五) 鴻爪泥ニ印スルハ子ガ意ニ非ラザルナリ

故典 (古詩)泥上偶然留指爪鴻飛那復記東西云云

解 鴻ノ爪痕ヲ泥上ニ留ムルガ如ク他ニ爲スコトナク徒ラニ飄泊スルコトハ吾意ニ非ラズト云フ意ナリ

(六) 遮莫アレ牛馬唯其呼ブニ任カス

故典 (莊子)天道篇昔者子呼我牛也而謂之牛呼我馬也而謂之馬

解 世人我レヲ見テ牛ト呼ブモ可ナリ馬ト呼ブモ亦可ナリ我レハ唯吾道ヲ守ルノミト云フナドニ用フ

(五) 馬齡ヲ加フ

故典 (前漢書孔光傳) 臣光智謀淺短犬馬齒恐一旦顛仆無以稱報也

解 年齡ヲ加ヘシコトナリ

(六) 環尾顛跌——流離

故典 (詩邶風旻篇) 環兮尾兮流離之子又々(鄭玄箋) 衛之諸臣初有小善終無成功似流離也

解 艱難流離スルコトニ用フ

(七) 武夫赴々

故典 (詩經) 赴々武夫公侯干城

解 赴々ハ勇猛ノ貌ニシテ勇シキ武士ナリ

(八) 一言一語肯綮ニ中ル

故典 (莊子養生篇) 披經肯綮之未嘗云云

解 肯綮トハ「カナメ」ト云フ意ニテ肝要ノコ

(九) 翼ナクシテ飛ビ脚ナクシテ善ク走ル

故典 (魯褒錢神論) 無翼而飛無脛而善走云云

解 金錢ノ速カニ天下ニ融通スルコトニ用フ

(十) 交ルニ友ナク轉離群索居ノ嘆アリ

故典 (禮記) 離群索居云云

解 群ヲ離レテ獨居スルヲ嘆クノ情ナリ

(十一) 言語矛盾

故典 (韓非子說難) 楚譽其盾之堅曰物無陷也又譽其矛之利曰物無不陷也或曰以子之矛陷子之盾何如

解 自ラ爲スコト又言フコトニ彼是レ撞着スルコトナ

云フ時ニ用フ

(九) 不庭ヲ討ズ

故典 (左傳隱公傳) 以王命討不庭

解 註ニ下ノ上ニ事フル皆禮ヲ庭中ニ成ストアリ故ニ不庭ハ非禮ノモノヲ云フ是レ即チ征討スルトナリ

(八) 松柏蔚然トシテ歲寒ノ姿アリ

故典 (論語歲寒而後知松柏之後凋)

解 松柏ハ節操ノ堅クシテ寒季ノ之ヲ犯スモ枯凋ノ色ヲ見ズ常ニ青々繁茂スルユトニ用ヒ或ハ人ノ壽ヲ賀スル時ナドニモ用ヒテヨシ

(七) 高山景行

故典 (詩經車牽篇) 高山仰止景行行行云云注景行大道也

解 人ノ尊仰歸依スルト云フユトナドニ用フベシ

(六) 穿鼻ヲ甘ンズ

故典 (莊子牛馬四足是謂天絡馬首穿牛鼻是謂人云云南史張弘傳梁武帝曰徐孝嗣才非柱石聽人穿鼻

解 愚鈍ニシテ人ノ辱ヲ甘ンシテ受クル猶牛ノ我ガ鼻ヲ穿タル、ヲ受クルガ如シト云フユトニ用フ

(五) 屍ヲ馬革ニ裹ムベシ

故典 (後漢書馬援傳) 援謂孟冀曰男兒要當死于邊野以馬革裹死還葬耳何能臥床上在兒女子手中耶冀曰諒爲烈士當如此矣

解 大丈夫タルモノハ屍ヲ原野ニ曝ラスカ又馬革ニ裹ンテ葬レバ足レリ何ッ婦女子ノ手ニ介抱セラレテ死セ

ンヤトナリ是レ烈士ノ所爲ナリ

(言) 越俎ノ罪ヲ犯ス

故典 (莊子逍遙遊) 庖人雖不治庖尸祝不越樽俎而代之矣

解 自己ノ職分ヲ越ヘタ罪ト云フコトニ用フルナリ

(言) 大厦ノ顛覆セントスル一木ノ能ク支フル所ニアラズ

故典 (文中子) 大厦之顛非一木之所支

解 國家ノ衰運ニ赴クキハ一人グラヒノ忠臣ノ力ニテ
ハ持テ支ヘルコトハ適ハヌト云フ意ナリ

(言) 數奇

故典 (漢書李廣傳) 李廣老數奇

解 運ノワルキコト即チ不仕合ノコトニ用ユルナリ

(言) 幾微ノ言面ニ見ハル、ナシ

故典 (韓退之送殷員外使回鶻序) 獨無幾微出於言面

解 不愉快ノ氣色が少シモ言語顔色ニ見レザルトナリ

(言) 是レ百步ヲ笑フノ類ノミ

故典 (孟子) 王好戰請以戰。隳填然鼓之。兵刃既接。棄甲曳兵而走。或百步而後止。或五十步而後止。以五十步笑百步。則何如。曰。不可。直不百步耳。是亦走也。云云

解 俗ニ云フ牡蠣ノ鼻垂ヲ笑フト云フニ全シク其失敗
大同小異ナルニ他ヲ冷笑スルノ至當ナラザルコトニ用
フ

(言) 當路者宜シク鑑ミルベキナリ

故典 (孟子) 夫子當路於齊云云

解 當路者トハ執政ノ人ナリ

(三) 酒ヲ贈テ王弘白衣ヲ學フ

故典 (續晉春秋) 陶潛九日無酒宅中菊摘盈把坐其側悵望久之見白衣人至乃王弘送酒使酌醉歸
解 酒ヲ贈ルキニ用フ

(三) 阿闍梨

故典 (名義集) 闍梨或阿祇利或阿遮黎耶唐言軌範隋言正行能糾正弟子行云云
解 僧ノユトニ用フ

(三) 玉トナリテ碎クルモ瓦トナリテ全キユトナカレ

故典 (三國志) 魏宗室景皓曰大丈夫寧爲玉碎不爲瓦全
解 節義ノ士トナリテ身ヲ果ツルユトアルモ不忠不義ノモノトナリテ生命ヲ全フスルユトハナスナトナリ

(三) 姑射ノ仙ノ如シ

故典 (莊子) 藐姑射之山有神人居焉肌膚若冰雪綽約若處子
解 身體ノ美シキ者ニ喩ヘテ用フ

(三) 梯航

故典 (文選) 梯山航海之貢云云
解 梯ハ懸橋ナリ航ハ舟渡ナリ故ニ外國ノ來貢ニ用フ

(三) 河魚ノ患

故典 (左傳) 申叔展與蕩無社言河魚腹疾如何
解 河魚ノ腐敗スルヤ先ヅ内ヨリシテ外ニ及ボス故ニ内幕ノ困難ヲ云フ

(三) 警咳ニ接ス

(一) 故典 (莊子無鬼) 親戚讟咳其側云云

解 言笑スルユトニ用ヒタリ故ニ其人ニ逢フテ語ヲ交
ルト云フユトニ用フ

(二) 懸車ノ齡ヲ迎フ

故典 (隋書) 韋世康謂子弟曰吾聞功遂身退古人常道今年
將耳順志在懸車汝輩以爲如何

解 六十歳ノ齡ヲイフ

(三) 拍手喝采ノ聲山河ニ響ク

故典 (西廂記) 喝采註ニ喝采北人鄉語稱美之意

解 人ノ言行ヲ賞美シテ贊成ヲ表スルノ意ニシテ其聲
山河ニ響クハ衆人手ヲ拍テ賞スルノ甚シキヲ形容スル
ナリ

(三) 早ク犧牛ヲ畏ル

故典 (莊子楚聘) 莊子應其使曰子見夫犧牛乎衣以文繡飼
以芻菽及其牽而入於其大廟雖欲爲孤犢其可得乎云云
解 人ニ仕ヘテ榮ヲ極ムルユトハ反テ厄難ヲ招クモノ
ナリトナリ

(三) 乏ヲ何職ニ承ク

故典 (左傳) 韓厥曰攝官承乏云云

解 缺員ヲ補フト云フ意ニテ謙遜ノ辭ナリ

(三) 秉鈞ノ人

故典 (詩經節南山) 維周之氏秉國之鈞云云

解 執政ノ人ナリ

(三) 衆妙ニ入ルノ門ナリ

(一) 故典 (老子) 玄之又玄衆妙之門

解 心ノ俗ヲ離レテ道ヲ得ルコトニテ忍ハ衆妙ノ門ナリナド用ヒタリ

(二) 跳梁

故典 (莊子) 狸狴東西跳梁不避高下云云

解 跋扈スルコト即チ我儘ヲナスコトニ用フ

(三) 夙ニ臨池ノ矩矱ヲ得タリ

故典 (晋王羲之自論書) 張伯英精熟過人臨池草書池水盡黑云云

解 臨池ノ矩矱トハ草書ヲ學ブノ法ヲ得ルコトナリ

(四) 遊刃恢々綽トシテ餘地アリ

故典 (莊子養生主) 恢々乎其於遊刃必有餘地矣

解 困難ニ處シテ少シモ動カザルコトニ用ユ

(五) 前跋後寔吾意ノ如クナラズ

故典 (詩幽風狼跋篇) 狼跋其胡載寔其尾云云

解 胡ハ領下ノ懸肉ナリ老タル狼ニハ胡アリ進デ其胡

ヲフム退テ其尾ニツマヅクト云フコトニシテ一事業ヲ

起スモ蹉跌シテ困難己レノ意ノ如クナラザルナリ

(六) 光焰萬丈

故典 (韓愈詩) 李杜有文章光焰萬丈長

解 文章ノ勢アリテ万丈ノ長サ程ノ光焰ヲ放ツトナリ

名文ヲ評シテ云フ

(七) 靜ナルコト林ノ如ク其疾キコト風ノ如シ

故典 (孫子) 靜如林疾如風

故典 (老子) 玄之又玄衆妙之門

解 心ノ俗ヲ離レテ道ヲ得ルコトニテ忍ハ衆妙ノ門ナリナド用ヒタリ

(三) 跳梁

故典 (莊子) 狸性東西跳梁不避高下云云

解 跋扈スルコト即チ我儘ヲナスコトニ用フ

(三) 夙

夙ニ臨池ノ矩矱ヲ得タリ

故典 (晋王羲之自論書) 張伯英精熟過人臨池草書池水盡黑云云

解 臨池ノ矩矱トハ草書ヲ學ブノ法ヲ得ルコトナリ

(三) 遊刃恢々綽トシテ餘地アリ

故典 (莊子養生主) 恢々乎其於遊刃必有餘地矣

解 困難ニ處シテ少シモ動カザルコトニ用ユ

(三) 前跋後寔吾意ノ如クナラズ

故典 (詩豳風狼跋篇) 狼跋其胡載寔其尾云云

解 胡ハ頷下ノ懸肉ナリ老タル狼ニハ胡アリ進デ其胡ヲフム退テ其尾ニツマツクト云フコトニシテ一事業ヲ起スモ蹉跌シテ困難己レノ意ノ如クナラザルナリ

(三) 光焰萬丈

故典 (韓愈詩) 李杜有文章光焰萬丈長

解 文章ノ勢アリテ万丈ノ長サ程ノ光焰ヲ放ツトナリ名文ヲ評シテ云フ

(三) 靜ナルコト林ノ如ク其疾キコト風ノ如シ

故典 (孫子) 靜如林疾如風

解 兵法ノ語ニシテ武田信玄ハ之レヲ旗ニ書セシト云

(三) 末年ニ暨ビ善ニ遷リ能ク豹變ス

故典 (易革卦) 上六君子豹變云云象曰豹變其文蔚也云云
傳君子從化遷善成文彬蔚

解 年老テ若キ時ノ非行ヲ悔悟シ釋然トシテ其非ヲ改
メ善行ヲナスニ至リシコトヲ云フ

(三) 苗格文德ノ盛ナル期シテ族ツベシ

故典 (書經) 舞于羽于兩階七旬有苗格

解 干羽ハ樂記ナリ禮樂ヲ修メテアル故ニ有苗ノ國モ
反亂セルニ歸服シタルトナリ斯ク反亂セル國マデモ歸
服シテ來ル位ヒ文德ノ盛ナルニ至ルベシト用フ

(三) 龍伸蠖屈

故典 (易繫辭下) 尺蠖之屈以求信也龍蛇之蟄以存身也云

解 龍蛇ハ蟄スルモ伸ブ尺蠖ノ屈スルモ伸テ而シテ進
ムナリ是レ感應自然ノ常理ナリ故ニ學モ亦自然ノ機ヲ
得テ屈モ信ブナリト知ルベシ

(三) 轍鮒ノ患ヒニ堪ヘズ

故典 (莊子雜篇外物) 莊子家貧故往貸粟於監河侯監河侯
曰諾我將得邑金將貸子三百金可乎莊子忿然作色曰周來
有中道而呼者周顧視車轍中有鮒魚焉周問之曰鮒魚來子
何爲者邪對曰我東海之波臣也君豈有斗升之水而活我哉
周曰諾我且南遊吳越之王激西江之水而迎子可乎鮒魚忿

然作色曰吾失我常與我無所處吾得斗升之水然活耳君乃言此曾不如早索我於枯魚之市云云

解 飢餓ニ迫マリシ患ヒナリ

(三) 士ハ取レドモ廉ヲ傷ラズ

故典 (孟子) 可以取可以無取取敗廉云云

解 士タルモノハ財寶ヲ妄リニ受ケズ必ズヤ之レヲ取ルニ道ヲ失ハズトナリ

(三) 塗鴉字ヲ成サズ

故典 (劉炳詩) 病目塗鴉不成字粉燼香墨惜鳥絲

解 病目ニテ程能ク字ヲ成サヌ故ニ分明ナラザルユトヲ書イタト云フニ用ヒタリ

(三) 子豈ニ鵠羽ノ嗟ナカラシヤ

故典 (詩經) 蕭々鵠羽集于苞栩王事無盥不能執稷黍父母何怙

解 鵠ハ雁ニ似タル鳥ナリ其性樹ニ止マラズ而シテ今ハ飛ンデ苞栩ニ集レリ人民亦勞苦ヲ厭フ而シテ久シク征役ニ從フテ耕田スルヲ得ズシテ子ノ職分ヲナスユトヲ得ザルヲ嘆ズルユトナリ故ニ民ノ軍ニ從ヒ其父母ヲ養フヲ得ザルヲ嘆ゲキシユトニ用ヒタリ

(三) 天地ノ大義ナリ

故典 (易經) 歸妹象傳歸妹天地之大義也天地不交萬物不興

解 歸妹ハ女男ニ歸ナリ妹ヲ人ニ嫁スルハ乃チ天地ノ大義理トナリ故ニ千古變ラザル道即チ天地ノ大義ナリ

ト云フ意ナリ

(三) 名聲藉甚

故典 (漢書陸賈傳陳平以奴婢百人車馬五十乘錢五百万遺賈爲食飲費賈以此游漢廷公卿間名聲藉甚)

解 大ニ評判ヲ受ケテ名ガ何處マデ轟クユトナリ

(三) 何ソ之ヲ齒牙ニ措クニ足ラシヤ

故典 (史記叔孫通傳此時群盜鼠竊狗盜耳何足置之齒牙間)

解 意ニカケテ心配スル程ノ事ニアラズトナリ

(三) 魚沈ニ雁斷ツ

故典 (古樂府客從遠方來饋我雙鯉魚呼童烹鯉魚中有尺素書長跪讀素書書中意何如上有加餐飯下有長相憶又々)

(漢書蘇武傳) 常惠教漢使者曰天子射上林中得鴈足有繫帛書言蘇武在大澤中

解 魚沈雁斷ハ音書ノ來ラズシテ消息ノ久シクナキチ云フ其魚ノ字ヲ書牘ニ用ヒルニ至リシハ古樂府ヨリ出テ其ノ雁ノ字ハ蘇武ノ事ヨリ來ル

(三) 兔走鳥飛

故典 (五經通義) 月中有兔有蟾蜍何兔陰也蟾蜍陽也而與兔並明陰係於陽也云云(淮南子) 日中有踰鳥注踰趾也三足鳥也

解 兔ハ月鳥ハ日ノユトニ用ヒタリ故ニ月日ノ早ク過グルヲ云フナリ

(三) 王事監キユトナシ

故典 (詩經小雅北山篇) 王事無盥云云

解 王事ノ忙シキコトナリ忠臣義士ノ勤王スルコトナ
下ニ用フ

(三) 文壇ニ牛耳ヲ執ル

故典 (左傳衛人請取牛耳)

解 牛耳ヲ執ルトハ文壇又筵會等ノ主盟者ヲ云フ

(三) 三無私

故典 (禮記孔子問居章) 天無私覆地無私載日月無私照奉
斯三者以勞天下此之謂三無私

解 天地日月ニ私ナシ人君モ亦此心ヲ以テ天下ノ人民
ヲ勞ス是レ私ナキノ德ナリ凡テ公平無私ノコトニ用フ

(三) 星移リ物換ル

故典 (王勃滕王閣詩) 物換星移幾度秋

解 年月ノ經シコトナリ

(三) 黃絹幼婦——絕妙好辭

故典 (世說) 魏武嘗過曹娥碑下楊脩從碑背上見題作黃絹
幼婦外孫壘白八字脩曰黃絹色絲也於字爲絕幼婦少女也
於字爲妙外孫女子也於字爲好壘白受辛也於字爲辭所謂
絕妙好辭也

解 黃絹幼婦ハ絶妙トナリ外孫壘白ハ好辭トナルナリ
是レ皆勝レタル文字ヲ賞シテ用フル語トナレリ

(三) 唇亡ビテ齒寒シ

故典 (左傳晉侯假道于虞以伐虢) 宮之奇諫曰諺所謂輔車
相依唇亡齒寒寒者其虞虢之謂也

解 隣國トハ相親ミテ互ヒニ相助ケ合フナリ然ルニ若シ隣國亡ブルトキハ隨テ我國ヲ弱クスルノ理ナリ是レ唇亡ビテ齒ノ寒キガ如キ類ナリ

(三) 履齒ノ折ル、ヲ知ラズ

故典 (晉書謝安傳) 幼度等既破堅有驛書至安方對客圍碁了無喜色既罷還內過戸限心喜甚不覺履齒之折
解 喜ビ極ツテ履物ノ齒ガ折レタルヲ知ラザリシトナリ故ニ甚シク喜悅スルヲ云フ

(四) 五日一風十日一雨

故典 (論衡) 太平之世五日一風十日一雨

解 太平ノ世ノ現象ニシテ風雨順ヲ得タルヲ云フナリ

(五) 琴ヲ燒キ鶴ヲ烹ル

故典 (唐李義山雜纂) 殺風景之部 燒琴烹鶴

解 琴又鶴ハ風韻アリ故ニ之ヲ燒キ又烹ルト云フハ是レ殺風景ノ事ト云フベシ

(六) 萬民ヲ橐籥シテ以テ一心トナス

故典 (老子) 天地之間其猶橐籥乎云云

解 民心ヲ一ツノ摸範ニ入レテ鑄冶シテ一心トナストノ意ナリ

(七) 糟粕ヲ舐リ唾餘ヲ拾フ

故典 (莊子) 子之所讀古人之糟粕云云

解 古人ノ言ヒ遺シタル廢物ト云フコトナリ之レヲ舐ルハ古人ノ「カス」ヲ味フ者ニテ役ニタヌトナリ

(八) 南柯ノ一夢

(一) 故典 (異聞集) 淳于棼醉夢入大槐安國見王王曰吾南柯郡屈鄉爲守凡二十歲使者送出穴遂寤尋古槐下蟻穴乃槐安國又一穴直上南枝即南柯郡也云云

解 夢ヲ見タル形容ニ用フベシ

(二) 越人秦人ノ肥脊ヲ見ルガ如シ

故典 (韓愈爭臣論) 若越人視秦人之肥脊

解 言フハ秦越相隔離スルコト甚ダ遠ク其ノ肥ヘタル

ヤ瘠セタルヤヲ意トシナサヌ一向平氣ナルコトナリ故

ニ其務ヲ務トセザルナドニ喩ヘテ可トセン

(三) 瓜葛ノ親アリ

故典 (孔氏雜說) 俗所謂瓜葛亦有所出也又(後漢書禮儀志) 上陵儀註荷在先帝有瓜葛之屬男女畢會云云

解 瓜葛トハ蔓生ニテ枝葉相纏フ故ニ人ノ戚族相連ナル親ヲ云フ

(四) 龍陽ノ選ヲ以テ柔曼ノ態ヲ逞フス

故典 (戰國策魏) 魏王與龍陽君共船而釣云云又(前漢書佞幸傳) 柔曼傾意非獨女色亦有男色焉師古註曰曼澤也言其質柔而色理光澤也

解 龍陽君ハ男色ヲ以テ魏王ノ寵ヲ受ケシ人ナリ又柔

曼ノ態ハ容貞光澤アリテ其質柔ナルコトナリ總テ男子

ニシテ枕席ニ侍スル者ヲ云フナリ

(五) 膠柱ト一般ナリ

故典 (淮南齊俗) 辟由膠柱而鼓瑟云云

解 柱ハ瑟柱即ナコトナリ此句世務ニ通セザルコト

ニ用フ

(三) 出藍ノ青

故典 (荀子) 青出於藍而青於藍。冰生於水寒於水。

解 弟子ノ其師ヨリ卓越スルヲ云フ

(四) 白龍魚服豫且ノ爲メニ困メラル

故典 (說苑) 吳王欲從民飲酒。伍子胥諫曰不可。昔者白龍下清冷之淵化爲魚。漁者豫且射中其目。白龍上訴天帝。天帝曰當是時若何安置而形。白龍對曰吾化爲魚。天帝曰魚故人之所射也。豫且何罪。今棄萬乘之位而從布衣之士飲酒。臣恐其有豫且之患矣。王乃止云云。

解 貴人高位ノモノト雖モ微服シテ出ツレバ遂ニ卑賤ノ者ヨリ困メ辱メテ受クルトナリ此意ニ用フベシ

(五) 是レ蠱上九ニ處ルモノ、居ナリ

故典 (易蠱上九) 象曰不事王侯志可則也

解 蠱上九トハ隱者ノユトニ用フルナリ

(六) 兩部ノ鼓吹

故典 (南齊書) 孔稚珪風韻清疎不樂世務。門庭之內草萊不剪。中有蛙鳴。或問曰欲爲陳蕃乎。珪曰我以此當兩部鼓吹。何必効陳蕃云云。

解 蛙鳴ヲ云フ

(七) 陶泓——陳玄

故典 (韓愈毛穎傳) 絳人陳玄弘農陶泓

解 八大家摘注ニ唐ノ絳州ヨリ墨ヲ貢シ虢州ヨリ瓦硯ヲ貢ストアリ弘農ハ虢州ニ屬シ瓦硯ノ名所ナルベシ故

ニ陶泓ハ硯ノユトニテ陶ハ陶冶泓ハ下深ノ義ニ取リシ
ナラシ陳玄ハ墨ナリ蓋シ陳ハ舊ク玄ハ黒キト云フ意ナ
ルベシ

(三) 伐性刀

故典 (白居易詩) 艶聲與麗色眞爲伐性刀

解 婦人ノ聲色ニ迷フテ謹嚴ナル人モ遂ニ其性ヲ變ジ
テ懦夫トナルニ至ルナリ故ニ婦人聲色ヲ賣ルモノヲ指
シテ云フヲ得ベシ

(四) 志ヲ得ル常ニ少シ

故典 (宋史羅點傳) 君子得志常少小人得志常多蓋君子行
必直道言必直論不忤人主則忤貴近小人所行所言皆取悅
之道

解 直道直論人主ト雖モ諂ハズ面争シテ止マズ是ノ故

ニ志ヲ得ルユト少キナリ君子ノ世ニ用ヒラレザルユト
ニ用フベシ

(五) 人豪

故典 (史記陳餘傳) 於此時不成封侯之業者非人豪也
解 猶ホ豪傑ト云フガ如シ

(六) 志ヲ得レハ驕ランユトヲ恐ル

故典 (韓詩外傳) 孔子曰明王有三懼一曰處尊位而恐不聞
其過二曰得志而恐驕三曰聞天下之至道而恐不能行
解 志ヲ得レバ己レノ思フ儘ナルベシ隨テ驕ヲ助長シ
來ルモノナリ故ニ聖賢之レテ戒メ恐ル、ナリ

(七) 文臣錢ヲ愛セズ武臣死ヲ惜マザレバ天下太平ナリ

故典 (宋史岳飛傳) 文臣不愛錢。武臣不惜死。天下太平矣。
解 文臣ハ我ガ利欲ニ迷ヒテ其職ヲ疎ニセズ。武臣ハ死
ヲ惜テ怯懦ナラザレバ進デ其盡クス所アルベキナリ。故
ニ天下太平ナル所以ナリ。

(三) 精誠神明ニ通ズ

故典 (班彪王命論) 然後精誠通於神明。流澤加於生民。
解 心ノ誠神明ニ通ズルハ能ク其道ヲ盡ス。故ナリトシ
意ニ用フベシ。

(四) 多々益辨ズ

故典 (史記淮陰侯傳) 上問曰。如我能將。幾何信。曰。不過能將
十萬。上曰。於君何如。曰。臣多々而益善耳。
解 少兵素ヨリ之レガ將タルヲ得ヘシ。假令多々益加ハ

ルモ能ク之レガ將トナリテ其兵ヲ遣フトナリ。總テ多ク
アル事ヲ處理スル才幹ヲ稱シテ云フナリ。

(五) 文ハ萬斛ノ泉ノ如シ

故典 (蘇軾集) 吾文如萬斛泉源。不擇地皆可出。
解 文章ノ思想ニ富ムトナリ。故ニ此思想ハ何レノ地
ニ於テモ混々トシテ流出スベシト云フ意ナリ。

(六) 油然トシテ雲ヲ作ユシ沛然トシテ雨ヲ下ス

故典 (孟子) 天油然作雲。沛然下雨。

解 黑雲ノ起ル形容ヲ油然ト用ヒ。雨ノ盛ニ下ル形容ニ
沛然ト用ヒタルナリ。

(七) 跡ノ犬堯ニ吠ユ。是レ其主ノ爲メニスルナリ

故典 (史記淮陰侯傳) 跡之狗吠堯。非不仁。狗固吠非其主。鄒

陽上書(樂之犬可使吠)堯而斷之客可使刺由

解 堯ハ聖王ナリ堯ニ吠ユル犬ハ恰モ不仁ノ者ノ如ク
見ユト雖モ是レ犬ノ仁不仁ニ關スルニ非ズシテ畢竟其
主ニ異ナルヲ以テ吠ユルナリ故ニ善タリ惡タリ唯其主
ニ從フトノ意ニ用フベシ

(三) 髀肉ノ生ズルヲ悲シム

故典 (蜀志先主傳注)備曰吾常身不離鞍髀肉皆消今不復
騎髀裏肉生日月若馳老將至矣

解 身戰ヒニ出テ馬上ニアレバ髀肉鞍ノ爲メニスレテ
消ストナリ然ルニ身安逸ニ處シテ久シク馬ニ騎セザル
ヲ以テ髀裏肉ヲ生ズ而シテ日月矢ノ如ク馳セ年茲ニ老
ヒテ功名富貴遂ニ成シ難キカト悲シムナリ

(三) 雲龍ニ從フ

故典 (易)雲從龍風從虎聖人作而萬物覩

解 雲ハ龍ニ從フ猶ホ豪將ノ下ニ弱卒ナキノ意ニ用ヒ
テヨシ

(三) 我レ未ダ之レヲ前聞セザルナリ

故典 (禮記檀弓上)檀弓曰何居我未之前聞也

解 注ニ前ハ目前ヲ謂フトアリ故ニ是迄目前ニ聞カザ
ルナリト云フ意ニ用ヒテ可ナリ

(三) 解語ノ花

故典 (開元遺事)太液池白蓮開明皇指妃子曰何如此解語

花

解 美婦人ヲ云フ

(三) 謳歌

故典 (孟子) 謳歌者不謳歌堯之子而謳歌舜
解 歌ヲ以テ其人ノ徳ヲ慕フナリ

(四) 智勇ノ鋒千ヲ以テ數フ

故典 (莊子) 諸侯之劔以智勇士爲鋒

解 劔銳シト雖モ以テ弱輩ノ用ヲナス能ハズ智勇ノ士
謀議スル處銳劔ニ勝ル万々ナリ故ニ諸侯ノ智勇ノ士ヲ
養フユトニ用フベシ

(五) 敗ヲ轉ジテ功ヲ爲ス

故典 (史記管仲傳) 其爲政也善轉敗而爲功又(後漢書)馮
衍說廉丹聖人轉禍而爲福因敗而爲功
解 失敗ヲ爲スモ之レヲ轉ジテ程能ク功業ノ道ヲナス

トナリ

(六) ト居

故典 (史記周本紀) 成王使周公ト居

解 猶ホ隱居シテ生ヲ養フト云フ如シ

(七) 深淵ノ靜ナルガ如シ

故典 (文選賈誼鵬鳥賦) 澹乎若深淵之靜

解 試ニ深キ淵ハ靜ナルガ如ク人ノ深思スル有様ハ此
ノ如シトナリ

(八) 思ヒ邪マナシ

故典 (論語爲政篇) 子曰詩三百一言以蔽之曰思無邪
解 思ヒ邪マナキハ是レ其心誠ナルナリ

(九) 無爲ニシテ至正ヲ守ル

故典 (禮記) 王中心無爲也。以守至正。

解 無爲ナルハ即チ心ニ思フ無キナリ寂然動カズ唯夫
レ中心ニ至正ヲ守ルトノ義ナリ

(三) 登龍門ト爲ス

故典 (世說) 登李膺門者時號爲登龍門。

解 顯貴ノ門ニ伺候シテ仕合ヲ得ル者等チ指シテ云フ
(三) 鬚ノ塵ヲ拂フ

故典 (事文類聚) 寇準爲相丁謂參知政事嘗食都堂羹染準
鬚謂起拂之公正色曰身爲執政而可親爲宰相拂鬚耶謂慙

解 高官ノ人ニ諂諛スルヲ云フ
(三) 時世ノ粧ヲナサズ

故典 (因治錄) 崔樞夫人治家整肅貴賤皆不許時世粧。

解 時ノ流行モノ、粧飾ヲナサズルコトナリ是レ浮薄
輕佻ヲ戒ムルニ在ルナリ

(二) 捐館

故典 (史記蘇秦傳) 今春陽君捐館舍。

解 死スルコトニ用フ

(一) 陟帖モ亦環膝ニ異ナルコトナシ

故典 (詩經) 陟帖篇 陟彼帖兮瞻望父兮云云 陟彼岵兮瞻望
母云云

解 帖ハ草木ナキ山ナリ岵ハ草木アル山ナリ孝子征役
ニ行キテ其親ヲ忘レズ山ニ登リテ其父母ノ在ル所ヲ望
ム環膝ハ父母ノ膝下ニ居ルナリ即チ遠ク父母ノ所ヲ離
ル、モ近ク父母ノ膝下ニ居ルモ孝行ノ心ハ一ナリト云

フ意ナリ

(六) 馬前ニ草ヲ結ブ

故典 (左傳宣公) 及輔氏之役。穎見老人結草以亢杜回。杜回躡而顛。故獲之云云。

解 敵將ノ馬前ニ立ケテ草ヲ結ブ然レハ躡テ顛ルレバ敵將ヲ得ルトナリ故ニ微忠ヲ勵ムコトニ用フ

(七) 節既ニ穀雨ヲ過ギ氣南訛ニ向フ

故典 (書經平秩南訛云云)

解 穀雨ハ春三月ノ節ナリ南訛ハ夏ノ候ナリ故ニ春ノ過ギ去リテ既ニ夏向キニナリタト云フコトニ用ヒタリ

(八) 蓋シ亦一方ノ木鐸ナリ

故典 (論語天將以夫子作木鐸云云)

解 世ノ風教ヲ掌リテ世人ヲ警醒スルナドニ用ヒタリ

(九) 蒔菲ヲ采ルノ心以テ觀ルベシ

故典 (詩經谷風之篇) 采葑采菲無以下體云云

解 蒔菲ハ草ナリ以テ食フベシ蒔菲ヲ采ルモノ其根ノ惡シキヲ以テ其莖ノ美ヲ棄ツベカラズ故ニ惡シキ處ヲ以テ善キ處マデ棄テザル心ニ喩フ

(一〇) 証左

故典 (前漢楊惲傳) 左驗明白註左證左也言當時在其左右見此事者也

解 証左ト云フハ猶證據ト云フガ如シ

(一一) 金蘭ノ契

故典 (易繫辭) 二人同心其利斷金。同心之言其臭如蘭

解 二人心ヲ全フス故ニ其利金ヲ斷ツ其臭蘭ノ如シト
ハ物能ク問ユトナク事々做シ得ヘクシテ且ツ其言味ア
ルトナリ

(三) 無定河邊ノ骨ヲシテ春閨夢裡ノ人タルノ歎アラシム

故典 (陳陶隴西行) 可憐無定河邊骨猶是春閨夢裡人

解 夫ハ征役ニ出テ戰死シテ骨ヲ原野ニ曝ラセルヲ其

婦ハ之レヲ知ラズシテ最早歸リ來ラントテ閨中ニ其容

姿ヲ夢見ルノ憐レナルヲ云ヒシナリ

(四) 渴スレドモ盜泉ノ水ヲ飲マズ

故典 (後漢書樂羊子妻傳) 志士不飲盜泉之水 (陵機詩) 渴不

飲盜泉水熱不息惡木陰

解 渴シテ困難スルモ盜賊ノ有スル水ヲ飲マズトナリ

是レ人ハ如何ニ窮スレバトモ惡人ノ庇恩ヲ受クヘカラ
ザルコトニ用フ

(五) 陽剛ノ才ヲ以テ虎變ノ象ニ應ズ

故典 (易革卦) 九五大人虎變云云傳九五以陽剛之才中正

之德居尊位大人也以大人之道革天下之事無不當也無不

時也所過變化事理炳著如虎之文采故云虎變龍虎大人之

象也云云

解 帝王ノ運ニ乘ジテ事ヲ成スヲ云フニ用フ

(六) 羊質ニシテ虎皮

故典 (楊香子) 羊質而虎皮見草而悅云云

解 外ハ威アル如クナレモ内ハ弱キコトナリ

(七) 一言半辭ノ我ヲ送ルナシ

故典 (史記信陵君傳) 信陵君過夷門見侯生侯生日公子勉之矣老臣不能從公子行數里心不決曰吾所以待侯生者備矣今吾且死而侯生曾無一言半辭送我我豈有所失哉
解 我レハ甚ダ彼レヲ鄭重ニセリ然ルニ我將ニ死セントスルニ彼レハ少シノ親切ノ辭ナシトナリ故ニ他ノ我ニ對シテ親切ノ言ナク甚ダ薄情ナルユトニ用フ

(三) 南山ノ壽——松柏ノ茂

故典 (詩經天保篇) 如南山之壽不騫不崩如松柏之茂無不爾或承
解 南山ノ虧ゲズ崩レザルガ如ク長壽ノユトニ用ヒタリ又々松柏ハ舊葉將ニ落ケントシテ而シテ新葉已ニ生シ相繼テ長茂スルガ如ク繁榮スルユトニ用ヒタリ

(四) 崇朝ナラズシテ天下ニ及バントス

故典 (公羊傳) 觸石而起膚寸而合不崇朝而雨者只泰山乎云云
解 雲ノ起ルヤ否ヤ僅ノ間ニ雨フルト云フユトニテ速ニ天下ニ行キ渡ルヲ云フ

連文解義

(一) 天地門

乾坤

天ヲ乾トイヒ地ヲ坤トイフ

神祇

天ヲ神ト云地ヲ祇ト云

堪輿

天道ヲ堪ト云地道ヲ輿ト云

燔

天ヲ祭ヲ燔トイヒ

經緯

縱ヲ經トイヒ横ヲ緯トイフ

又

天象定ル者經ト云ヒ天象動ク者緯ト云フ

魂魄

陽神ヲ魂トイヒ陰神ヲ魄トイフ

祈禱嘗蒸

春ヲ祈トイヒ夏ヲ禱トイヒ

旬朔

十日ヲ旬トイヒ月ノ一日ヲ朔トイフ

社稷

土神ヲ社ト云穀神ヲ稷ト云

墳墓

高ヲ墳ト云平ヲ墓ト云

菟苗獮狩

春ヲ菟ト云夏ヲ苗ト云

夷戎

東ヲ夷ト云西ヲ戎ト云

鬼神

天神ヲ鬼トイヒ人神ヲ神トイフ

(二) 山水門

波濤

大ヲ波ト云小ヲ濤ト云

璞玉

磨セザルヲ璞トイヒ磨シタルヲ玉トイフ

岷峒

草木アルヲ岷トイフ

岡阜

山脊ヲ岡ト云土山ヲ阜ト云

汎濫

側出ヲ汎トイヒ正出ヲ濫トイフ

池沼

圓ヲ池ト云曲ヲ沼ト云

丘陵

土高ヲ丘ト云大阜ヲ陵ト云

隩鞠

内ヲ隩トイヒ外ヲ鞠トイフ

(三) 城市門

街巷

直ヲ街トイヒ曲ヲ巷トイフ

原野

廣平ヲ原トイヒ郊外ヲ野トイフ

廣袤

東西ヲ廣トイヒ南北ヲ袤トイフ

疆場

大界ヲ疆ト云小界ヲ場ト云

郊郭

城外ヲ郊ト云外城ヲ郭ト云

康衢

五達ヲ康ト云四達ヲ衢ト云

廣輪

東西ヲ廣ト云南北ヲ輪ト云

稼圃

五穀ヲ種ユルヲ稼ト云蔬菜ヲ種ユルヲ圃ト云

苑囿

牆アルヲ苑ト云牆ナキヲ囿ト云

聚鄉

小ヲ聚ト云大ヲ鄉ト云

都邑

大ヲ都ト云小ヲ邑ト云

郊牧

邑外ヲ郊ト云牧ヲ牧ト云

林外

林外ヲ林ト云林外ヲ林トイフ

(四) 官室門

垣墉

卑ヲ垣ト云高ヲ墉ト云

鄰里

五家ヲ隣ト云五家ヲ里ト云

鄉黨

二千五百家ヲ鄉ト云

門戶

精ヲ門ト云奇ヲ戶ト云

庠序

黨ノ學ヲ庠ト云州ノ學ヲ序ト云

臺榭

土高ヲ臺ト云木アルヲ榭ト云

欄楯

縱ヲ欄ト云横ヲ楯ト云

狴獄

鄉亭ノ繫ヲ狴ト云朝廷ニアルヲ獄ト云

牖戶

氣ヲ通ズル處ヲ牖ト云出入スル處

狴戶

狴トイフ

(五) 器用門

帷幄

前ニアルヲ帷トイヒ。悉ク周ルヲ幄トイフ。

絀絹

大絲ヲ絀ト云ヒ。小絲ヲ絹トイフ。

苞苴

裹ヲ苞トイフ。

云藉ヲ

絲竹

管ヲ絲ト云。竹ト云。管ヲ竹ト云。

斧斨

斨トイフ。斨トイフ。斨トイフ。

椽桷

圓ヲ椽ト云。方ヲ桷ト云。

俎豆

牲體ヲ載スヲ俎トイフ。豆トイフ。

弓弭

緣アルヲ弓ト云。緣ナキヲ弭ト云。

衣裳

上服ヲ衣ト云。下服ヲ裳ト云。

切磋

骨ヲ切ト云。骨ヲ磋ト云。

篲

土ヲ篲ト云。竹ヲ篲ト云。

尸柩

柩ニアルヲ尸ト云。柩トイフ。

鞞

夏ニ鞞ト云。商ニ鞞ト云。

瑚璉

夏ニ瑚ト云。商ニ璉ト云。

舟艦

船後舵ヲ持ツ處ヲ舳トイフ。船頭櫃ヲ刺ス處ヲ艦トイフ。

旃旒

通帛ヲ旃ト云。交龍ヲ旒ト云。

推輓

後送ヲ推トイフ。前牽ヲ輓トイフ。

鞞

鐘

橫ヲ鐘トイフ。縱ヲ鞞トイフ。

篳篥

方ヲ篳ト云。圓ヲ篥ト云。

絺綌

精ヲ絺ト云。麤ヲ綌ト云。

琴瑟

七絃ヲ琴ト云。五絃ヲ瑟ト云。

欸識

凸ヲ欸ト云。凹ヲ識ト云。

干戈

主防ヲ干ト云。主殺ヲ戈ト云。

戟戈

雙枝ヲ戟ト云。單枝ヲ戈ト云。

輜重

衣服ヲ載スルヲ輜ト云。他ノ諸物ヲ載スルヲ重ト云。

豆

竹ヲ豆トイフ。木ヲ豆トイフ。

鎖鑰

牝ヲ鎖トイフ。牡ヲ鑰トイフ。

耒耜

柄ヲ耒ト云。刃ヲ耜ト云。

白磨

直擣ヲ白ト云。云ヒ旁擣ト云。

磨

孟

大ヲ孟ト云。小ヲ盃ト云。

楷梯

級アルヲ楷ト云。格アルヲ梯トイフ。

鐙錠

足ヲキヲ鐙ト云。ヒ足アルヲ錠ト云。

席筵

單ヲ筵ト云。重ヲ筵トイフ。

篋笥

圓ヲ篋ト云。方ヲ笥ト云。

扉扇

木ヲ以テスルヲ扉ト云。扉ヲ以テスルヲ扇トイフ。

薦席

藁ヲ薦トイフ。莞ヲ席トイフ。

躡鞞

鞞底ヲ躡トイフ。底平ヲ鞞トイフ。

鉗鈇

頸ニ在ルヲ鉗ト云。足ニ在ルヲ鈇ト云。

桔

足ヲ桎ト云。手ニ桎ト云。

和鸞

鈴軾ニアルヲ和ト云。鈴鑣ニアルヲ鸞ト云。

鞞鞞

鞞ト云。鞞ト云。其餘ヲ鞞ト云。

磬控

馬ヲ磬ト云。馬ヲ控ト云。

止ルヲ控ト云。

(六) 禽獸門

禽獸

二足ニシテ羽ヲ禽ト云。四足ニシテ毛ヲ獸ト云。

羔羊

小ヲ羔ト云。大ヲ羊ト云。

牛犢

老牛トイフ。少牛トイフ。

麋象

牛羊ヲ麋トイフ。犬豕ヲ象トイフ。

鴨鳧

大ヲ鴨ト云。小ヲ鳧ト云。

鳳凰

雄ヲ鳳ト云。雌ヲ凰ト云。

群友

獸ニシテ群トイフ。獸ニシテ友トイフ。

鴻雁

大ヲ鴻ト云。小ヲ雁ト云。

(七) 人物門

后妃

天子ヲ后ト云ヒ諸侯ヲ妃ト云フ

奴婢

男ヲ奴ト云ヒ女ヲ婢トイフ

伯仲叔季

長ナ

叔トイヒ四以下ヲ季ト云

尊命

君孫ヲ尊ト云ヒ臣下ヲ命ト云フ

嫁娶

出ヲ嫁ト云ヒ入ヲ娶ト云フ

婦 未嫁ヲ娘ト云ヒ已嫁ヲ婦ト云フ

俊傑

智過千人ヲ俊ト云ヒ智過千人ヲ傑ト云フ

淺陋

小聞ヲ淺ト云ヒ小見ヲ陋ト云フ

賈 行テ賣ルヲ街ト云ヒ坐テ賣ルヲ賈ト云フ

舅姑

夫ノ父ヲ舅ト云ヒ夫ノ母ヲ姑ト云フ

巫覡

女ヲ巫ト云ヒ男ヲ覡ト云フ

老 老テ妻ナキヲ鰥ト云ヒ老テ夫ナキヲ寡ト云フ

孤獨

幼ニシテ父ナキヲ孤ト云ヒ老テ子ナキヲ獨トイフ

短折

未冠短ト云ヒ未婚折ト云フ

老 七十ヲ耆ト云ヒ八十ヲ老ト云フ

(八) 行事門

卜筮

龜占ト云ヒ蓍占ト云フ

會同

時見ヲ會ト云ヒ衆類ヲ同トイフ

漱澣

手ヲ洗フヲ澣ト云ヒ足ヲ洗フヲ澣ト云フ

稼穡 種ニルヲ稼ト云ヒ歛ムルヲ穡ト云フ

齊戒

心ヲ洗フヲ齊ト云ヒ足ヲ防クヲ戒トイフ

荷擔

背ヲ荷ト云フ

命令 大ヲ命ト云ヒ小ヲ令ト云フ

言語

發ヲ言ト云ヒ答ヲ語ト云フ

趨走

疾行ト云フ

哭泣 大聲ヲ哭トイフ細聲ニ泣トイフ

紡績

器ヲ以テスルヲ紡ト云ヒ手ヲ以テスルヲ績ト云フ

虜獲

生得ト云フ

誥告 上ニ告ヲ誥トイフ下ニ告ヲ告トイフ

敘任

位ヲ叙トイフ官ヲ任トイフ

徵辟

天子ヲ徵トイフ諸侯ヲ辟トイフ

悚懼 中心ヲ悚ト云ヒ外面ヲ懼ト云フ

律令

懲罰ヲ主トスルヲ律ト云ヒ戒飾ヲ主トスルヲ令ト云フ

弒誅

上ヲ殺スヲ弒ト云ヒ下ヲ殺スヲ誅ト云フ

孝悌 父母ニ孝ト云ヒ兄弟ニ悌ト云フ

哂笑

小ヲ笑ト云ヒ大ヲ笑ト云フ

役職

官ヲ役ト曰ヒ吏ヲ職ト曰フ

臧否 善ヲ臧ト云ヒ惡ヲ否ト云フ

舞蹈

手ヲ以テスルヲ舞ト云ヒ足ヲ以テスルヲ蹈トイフ

咒詛

罪ヲ以テ神ニ告グヲ呪ト云フ

泣 聲アリ涙ナキヲ悲トイフ聲ナク涙アルヲ泣トイフ

朝夕

朝見ヲ朝ト云ヒ夕見ヲ夕ト云フ

獻酬

主人賓ニ酌ムヲ獻トイフ賓主人ニ飲マズ酢トイフ

卒乘 歩ヲ卒ト云ヒ車ヲ乘トイフ

治兵

出ヲ治ト云ヒ入ヲ振ト云フ

宿信 一宿ヲ宿トイフ再宿ヲ信トイフ

涕泗

目ヨリスルヲ涕ト云ヒ鼻ヨリスルヲ泗ト云フ

雕琢

金ヲ彫ト云フ

玉ヲ琢ト云フ歌謠徒ニ歌フヲ謠トイフ跋涉草行ヲ跋ト云ヒ水行ヲ涉ト云フ泳游潜行ヲ泳トイ

遊トイフ水ニ浮ハナフ縦送拔チ合チ縦ト云ヒ飛走唯雄ヲ飛ト云ヒ牝走ト云フ頡頏飛テ上ルヲ頡トイフ

食物門 肉脯生チ肉ト云ヒ干チ脯ト云フ饘粥稠チ饘ト云粟米ト云ヒ甲チ米トイ

(九) 食物門 肉脯生チ肉ト云ヒ干チ脯ト云フ饘粥稠チ饘ト云粟米ト云ヒ甲チ米トイ

イ餵飴強チ餵トイフ糧食行道チ量トイフ薦莽稠チ薦トイフ枝柯小チ枝ト云ヒ大チ

(八) 草木門 萌蘖直出チ萌トイフ薦莽稠チ薦トイフ枝柯小チ枝ト云ヒ大チ

柯ト云フ莞蘭大チ莞トイフ莖筒枝草チ莖トイフ蕊萼内チ蕊ト云外チ萼ト云

灌栲叢生ノ者ヲ灌トイフ瓠匏長シテ上瘦セタルヲ瓠ト云大腹ナルヲ匏トイフ

作文 故事選附錄畢

明治廿六年二月廿四日印刷
全 年三月一日出版

版權登錄

編纂者 坂本務
廣島縣深津郡福山町字東町百四番邸
廣島縣土族

發行者 高田治兵衛
大阪市西區新町通三丁目二百廿一番邸
大阪府平民

印刷者 瀬戸清次郎
大阪市西區鞆下通二丁目四十八番邸

發兌書林

高田文賞堂
大阪市西區新町砂場
大阪府東區博勞町四丁目
岡田藤三郎

有所權版



文賞堂發兌廣告

据宋

大日本 廣信 豐山謝先生編次本
後學 大和 節齋森田先生口授
東京 福平岡三慶評述集

去腐 正文章軌範評林大成

全六冊
正價 八十錢

明 安福 東郭鄭守益編次
大日本 東京 三慶岡道明卿編輯評述

去腐 續文章軌範評林大成

全六冊
正價 八十錢

諸家ノ註評ヲ蒐羅シ乃チ章句ヲ裁分シ段落ヲ劃畫シ以テ讀者ヲシテ容易ニ本文ノ意思結構ト作文トヲ知ラシム實ニ故ヲ化シ新ト爲ス最モ大成ノ名ニ背カサル完備ノ良書也
長谷川玄龍編輯
青木東園淨書

補增 天下無双用文

全壹冊
正價 金廿錢

坂本善之助著訂正再版

作文 獨修 生徒之友

洋裝美本
全壹冊 正價十二錢
郵稅 貳錢

一本書ハ小學校生徒ノ作文獨修ニ充テシカ爲メ編述セリ
一本書ハ題目及其材料ヲ輯集シ文範ヲ示ス故ニ生徒ハ先ツ其材料ニヨリテ考思熟慮即チ文ヲ綴リ而シテ後チ文範ニ對照シテ其文ノ可否等ヲ定ムヘシ各部門ノ終リニ練習題ヲ設ケタルハ本書特色ナリ

山田野亭序
石田勘平著

長者之弗箱

全三冊
正價 金十五錢
郵稅 金四錢

一本書は長者之弗箱は心學家之開祖石田勘平先生の卓撰にて人口に膾炙する事久し然ども稍星霜押移たれば當地の婦女童蒙不知も亦鮮からし質素儉約之道を孩兒に教諭すへき書を述作を旨とす書肆文賞堂の主人頻に需むされ共小生が不學短才何をか謂んと再三固辭それども不許已を得彼の石田氏の糟を嘗て猥に一小冊子と編長者之弗箱と題し漸く其責を禦と雖身辟野文故人に對して慚愧に不堪爾云

高田重吉著

忠孝福壽艸

本書は今様にのどは古人の言の葉にして人々の能しれる處なり其意を畫に作り女童の手つとみとして忠孝の道をさとせ又能知りたる男子といへ共其道を身に行はされは知らざるにもあどる明暮此書と開き見れば女童は元より只まりたるとして行はさるの人々も天然にして道を行ふ又能道をまゝり行ふ人は漸時笑を止て見ゆるし給へかし

濟南李鸞龍編選

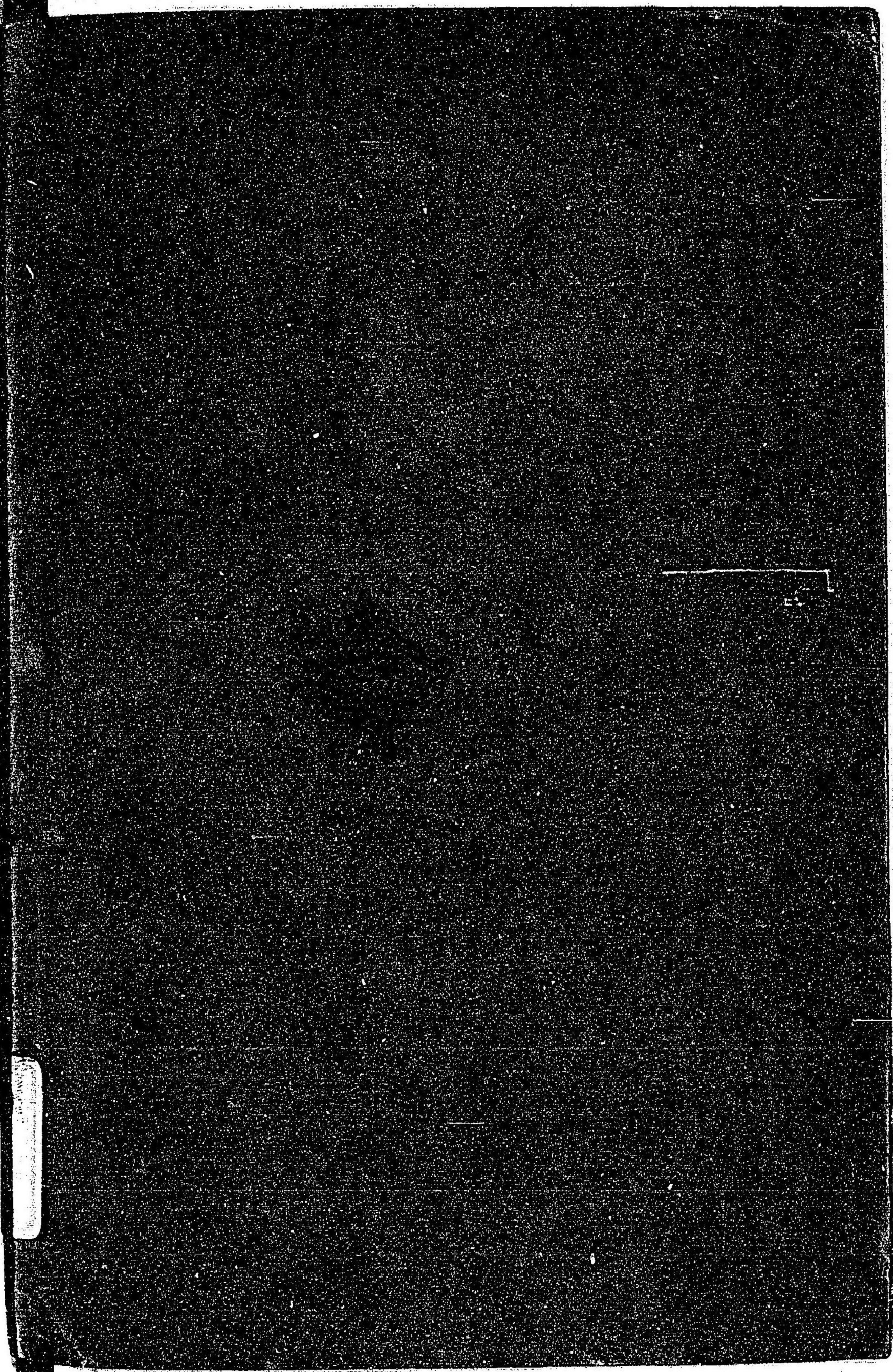
唐詩選

中本 全三冊
正價 金廿六錢
郵税

假名附唐詩選

小本 全三冊
正價 金十五錢
郵税

全壹冊
正價 金八錢
郵税 貳錢



Small, illegible text or markings on the left edge of the dark area, possibly a label or a page number.

079023-000-7

特19-319

故事選

坂本 務/編

M26.3

DAC-2910



特